

# 第38回定期演奏会へ向けて

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

## 2019年10月6日（日）第38回定期演奏会

### 記事

同仁教会礼拝堂にて、予定通り定刻に演奏会を開催。  
無事に演奏を終えることが出来ました。

ご来場いただいた皆様、どうもありがとうございました。

一年間、辛抱強くご指導くださった先生、そしてオケの先生方、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。  
心より御礼申し上げます。

### 備考

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

## 2019年10月5日（土）

### 練習箇所

全曲

### 記事

オケ合わせ（2回目）

### 備考

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

## 2019年10月2日（水）

### 練習箇所

（Der Herr ist Königを除いて）全曲

### 記事

今日は1回目のオケ合わせでした。

録音がUPされていますので、先生からの注意点など、各自チェックをお願いいたします。

備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年10月1日（火）

練習箇所

全曲

記事

全体発声：25分

★Befiehl dem Engel, dass er komm

以下のダイナミクスをつけました。

- ・ 12小節～：12小節3拍目mp→13小節3拍目mf
- ・ 16小節～：16小節mf→17小節mp→18小節でクレッシェンド→19小節f
- ・ 25小節～：25小節mf→26小節mp→27小節～クレッシェンド→29小節f

備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年9月25日（水）

練習箇所

全曲

記事

全体発声：33分

<内容>

全曲をプログラム順に練習しました。

★Missa brevis

- ・ 6. 14小節テノール：新たに上から入り直す。フレーズの最後まで上向きに。
- ・ 8. 38小節ソプラノ：1拍目'tiは口を縦に開ける。「イ」になるとピッチが下がるので広い母音で高い響きにしましょう。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・30小節近辺：柔らかい表現にするが、支えが無くならないように。

★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・「第九を聴いているようだ」とコメントされてしまいました。全体的に肩に力が入り過ぎた声になっているとの指摘です。

少人数のアンサンブルらしく、しなやかな柔らかい雰囲気が出るように、抑揚をつけて歌いましょう。

★Befiehl dem Engel, dass er komm

- ・88小節～：88小節mp→90小節mf→92小節fとダイナミクスをつけました。

その前の間奏で取めるので最初のmpは小さく始めます。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

- ・A-39小節：フォルテのまま、しっかり歌う。

4拍目男声のAの音が上がりきっていません。上から取りましょう。

- ・男声：A-35小節4拍目、37小節4拍目のBの音が下がっています。ハーモニーを決めるつもりで上から音を取ってください。

★Der Herr ist mit mir

- ・先生からご注意ください、出だしのアルトは未だに低い音から歌い始めている方がいます。

録音を聴いて確認をお願いします。

- ・170小節バス：出だしの32分音符は流れてしまわないように1音ずつしっかりと歌う。

★Was frag ich nach der Welt

- ・56小節男声：出だしの音程が不安定です。間奏からイメージして入れるよう確認をお願いします。

備考

・次回は10月1日(火)臨時練習です。場所はいつもと同じ同仁幼稚園2階、時間は19:00～21:00の2時間です。全員揃って練習を始められるようご調整お願いします。

- ・オケ合わせ1回目は10月2日(水)19:00音出しです。合唱団は18:30集合で発声練習します。

- ・本番当日のタイムテーブルを配布しました。

各担当間で調整の上、スムーズな設営にご協力をお願いします。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年9月18日（水）

練習箇所

Dieterich Buxtehude

Was frag ich nach der Welt

Der Herr ist mit mir

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

Befiehl dem Engel, dass er komm

Georg Philipp Telemann

Ein feste Burg ist unser Gott

記事

全体発声：38分

<内容>

★Was frag ich nach der Welt

- ・最初に各パートソロを個別に練習しました。
- どのパートも裏拍から出ます。直前でブレスをすると出だしが遅れるため、息を吸いすぎず、気負わずに出るように。
- ・アルトソロでは子音の処理を練習しました。語尾の子音の時間を作る＝母音を伸ばし過ぎないように。"Welt" "hoch"など
- ・157小節～8分の12拍子のリズム練習をしました。拍頭に休符が入るとどうしても遅れるため3連符のリズム感を持てるように各自練習をお願いします。特に162～164小節と、176～177小節は要注意です。

★Der Herr ist mit mir

- ・170小節からのバスソロを練習した後、150小節から最後まで練習。
- ・150小節テノール：タイミング、音ともに不安定ですので確認をお願いします。
- ・154小節バス：2拍目と4拍目の16分音符は全音下がるところが半音になっていますので確認をお願いします。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

- ・8小節：タイミングを揃えて出るのは勿論ですが、美しいハーモニーになっているか、各自確認をお願いします。短い音なので、正しい音に当たらずに終わっている感があります。
- ・練習番号C（アルトソロ）

Was frag～と同様、発音に関して細かいご注意がありました。

アルトは3名体調不良でお休みでしたので、録音でご確認をお願いします。

★Befehl dem Engel, dass er komm

- ・130小節テノール：音を間違えている方がいます。各自確認をお願いします。

備考

- ・当日の注意事項を記載した紙を配布しました。各自目を通しておいってください。タイムテーブルは次回配布します。
- ・楽譜カバーも配布開始しました。前半は薄い水色、後半は青になります。各自持ち帰り、製本をお願いします。
- ・来年の演奏会日程が確定しました。本番は10月4日(日)、オケ合わせは9月30日(水)と10月3日(土)です。ご予約空けておいってください。

■ [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年9月11日（水）

練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Missa brevis in C  
Der Herr ist König  
Der Gott unsers Herrn Jesu Christi  
Ein feste Burg ist unser Gott  
Dieterich Buxtehude  
Was frag ich nach der Welt

## 記事

全体発声：39分

<内容>

訳ありで団員が臨時で伴奏を担当。水野先生の指揮をしっかりと見て練習しました。

★Missa brevis in C

<1.Kyrie eleison>

- ・1小節目：アルトとテノールの都合に合わせて、全パート語尾を揃えて取る。

<2.Christe eleison>

- ・25小節ソプラノ：コンマを活かして、3拍目裏は、音を取り直して入る。

<7.Christe eleison>

- ・29小節からのバス：少年のような素直さを持ってシンプルに歌いましょう。

★Der Herr ist König

- ・80小節："sind"の語尾を取るタイミングを合わせる。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

・31小節：調性が短調に変わるので、柔らかめな指揮になるかもしれません。音量も少し控えめに。そして、だんだん盛り上げていきます。

★Ein feste Burg ist unser Gott

<Strophe1~3>

- ・77小節テノール："List"は上を向いた声で歌いましょう。
- ・79小節アルト："sam"は"m"をしっかり出して語尾になるようにする。但し「ム」と発音するものではありません。"m"を言って唇を離すだけです。
- ・82小節アルト："Rüstung"の巻き舌をもっと出しましょう。
- ・99小節テノール：スムーズに歌い出せるよう、慣れる練習をしました。（120小節の新しいフレーズの入りも同様に練習しました。）

"unsrer"の"u"が日本語の詰まった「ウ」にならないように。

- ・115小節テノール：1拍目は「ソーシーレーファ」の和音の中の「レ」に入るように。2拍目は「ソーシーミ」の「ミ」に入るように。136小節も同様です。
- ・120小節テノール："rechte"の"re"にアクセントが来るように。
- ・142小節アルト："Gottes"はしっかりした声で。"o"は開いた母音です。

<Strophe4>

- ・フレーズの最後は内切りにあまりこだわらなくてよい。指揮に合わせて、切りましょう。

★Was frag ich nach der Welt

<練習記号C> (男声ソロ)

・速いテンポでもひとつひとつの言葉がはっきりと発音出来るよう、言葉の処理の仕方などを練習しました。（語尾の子音を立てる等。）

<練習記号O> (alleluya)

- ・速いテンポに慣れる練習をしました。（主に男声パート）
- ・男声：8分休符の後の歌い出しの食いつきを良くする為に、その前の付点4分音符を短めに処理する。（162小節、164小節、他）

★Der Herr ist mit mir(alleluia)

- ・慣れるために、練習しました。

2019年9月4日（水）

## 練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Missa brevis in C  
Der Herr ist König  
Der Gott unsers Herrn Jesu Christi  
Ein feste Burg ist unser Gott  
Dieterich Buxtehude  
Was frag ich nach der Welt  
Der Herr ist mit mir

## 記事

全体発声：39分

<内容>

全体的にテンポを更に少し早くして練習しました。

★Missa brevis in C

<5.Et in terra pax>

- ・9小節テノール：最後のgは上の響きで。

<6.Domine Deus>

- ・13小節テノール：2拍目のfは遠慮がちにならないよう。

<9.Cum Sancto Spiritu>

- ・曲の入りのハーモニーが決まるように。

★Der Herr ist König

- ・アルトの12小節からのフレーズを細かく練習しました。

特に"sich"の発音、16小節のhの音色は要注意です。録音を聞くなどして各自練習をしましょう。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・曲の最初の歌い出しの時に、息を吸い過ぎると声が固まってしまうので、自然体で歌い出しましょう。
- ・39～40小節バス：オクターブの跳躍の低い方の音はあまり鳴らさず、柔らかい感じで。

★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・1回通して歌いました。

★Was frag ich nach der Welt

・速いテンポでの練習をしましたが、8分の12拍子の部分で男声パートの遅れが目立ちました。主に8分休符の後の歌い出しの遅れ。オケと男声パートだけの部分は、特にずれないように気をつけましょう。

★Der Herr ist mit mir

- ・172小節のテノールの入りの音は和音（f-a-c）を覚えておくと入りやすいです。

備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年8月28日 (水)

練習箇所

全曲

記事

全体発声：44分

<内容>

全曲をプログラム順に通して歌いました。

個別のご注意は以下の通りですが、ピッチ、発音、リズムなど、今までの練習が活かされていない点が多くあると思います。

少人数のアンサンブルですので、パート間のバランスにも注意しましょう。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

・曲の終わりを再度確認しました。1拍目まではそれまでのテンポのまま、2拍目の8分音符で少しゆっくり収めて終わります。

指揮をよく見て合わせましょう。

★Befiehl dem Engel, dass er komm

・今までよりテンポが全体的に速くなっています。全曲通した後、この曲はもう一度練習しましたので、録音を聴いてテンポ感を掴んでください。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

・最後（練習番号A-39小節）の'nichts'のハーモニーを決めましょう。39小節4拍目で男声が上がりきっていません。

★Was frag ich nach der Welt

・通した後、アルトのソロをもう一度練習しました。

他のパートも含め、まだ言葉が喋りきれていないところがあるようです。テンポも速くなっていますので、不馴れなところは各自復習をお願いします。

備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年8月21日 (水)

練習箇所

## 記事

全体発声：31分

<内容>

★Befiehl dem Engel, dass er komm

- ・27小節からのフレーズ：27小節の3拍目の後でブレスを取り、残りはノンブレスで歌います。
- ・121～123小節バス：コンマのところを、あまり分け過ぎないように。メロディラインが浮かび上がるように。133小節からのフレーズも同様です。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

<記号C> (アルト)

- ・一本調子にならないように。
- 4小節ごとの1フレーズをノンブレスで。言葉、メロディラインに沿って抑揚を付け、効率よくエネルギーを使いましょう。
- 37小節のフレーズの入りは劇的に歌い出しましょう。

★Der Herr ist mit mir

- ・38～39小節のハーモニーを調整しました。テノール：喉を詰めず、裏声主体の薄めの声で歌いましょう。今は分厚い声になっていて、音色が合わずハーモニーが整いません。50～51小節のハーモニーも同様です。
- ・55小節テノール：上から入りましょう。
- ・6小節アルト：出だしは、声を絞り出すのではなく、スッと入りましょう。特に最初の"Der"は冠詞なので、軽く短く。

★Was frag ich nach der Welt

<記号E>

- ・男声：歌い出しの"Die"は、軽い声で歌いましょう。女声パートと声が溶け合うように。

<記号L> (アルト)

- ・127小節、131小節のaのピッチを気をつけましょう。
- ・133小節の"was"のgのピッチが当たるように。
- ・"sich"の発音が「ジッヒ」にならないように気をつけましょう。

★Ein feste Burg ist unser Gott

< Strophe 1 >

- ・出だしテノール：声が分厚くなって、ピッチが下がっています。上から、裏声主体の声で入るように。
- ・23～26小節：急がないように。インテンポで。特に25,6小節は指揮を必ず見るように。
- ・バス：4部音符で刻む音形が続くので機械的にならないように。言葉のアクセントで抑揚を付けるなど、工夫しましょう。

< Strophe 2 >

- ・"Gottes Wort und Christe Lehr ~"のフレーズは頭の"Gottes"を強く歌い過ぎないように。大事な言葉は"Wort"です。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi：1度通しました。

★Der Herr ist König：1度通しました。

- ・曲の出だしが揃っていません。指揮をしっかりと見ましょう。

★Missa brevis in C：1度通しました。

2019年8月14日（水）

## 練習箇所

全曲

## 記事

同仁教会がお盆休みのため、前回同様、幡ヶ谷のアスピアで練習しました。

全体発声：28分

## &lt;内容&gt;

全体的に、テンポが今までとは変わって来ています。1つずつ個別に注意はありませんが、指揮を見て合わせられるよう、楽譜から顔を上げて歌いましょう。

## ★Missa brevis in C

## &lt;Kyrie&gt;

- ・2小節（内声）：指揮をよく見てテンポを感じながら歌い出してください。今までより少しテンポが速めになっています。
- ・14小節：ここで少しテンポを抑えます。（特に第2Kyrie）指揮を見て合わせましょう。

## &lt;Gloria&gt;

- ・10小節（ソプラノ）：16分音符の音も丁寧に。
- ・18小節：出だしの和音が決まるように。特にバスは子音の発音より安定した和音を優先させる。
- ・40小節：ここでテンポが変わります。今日は乗り遅れています。よく指揮を見て合わせましょう。

## ★Der Herr ist König

- ・最初のテーマ：節をひとつずつ歌いがちなことにより、今のテンポについていけていません。一筆書をイメージして、文節をまとめて歌えるように工夫してください。音節で歌い直さないことがポイントです。今日はバスが注意を受けましたが、どのパートも同様です。各自復習をお願いします。

## ★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・43小節：曲の最後です。当然ブレーキは掛かりますので、皆で一緒に終われるよう、合わせましょう。1拍目の16分音符が鍵です。

★Ein feste Burg ist unser Gott ・1小節（テノール）：特にご注意ありませんでしたが、裏声で入る約束になっていたと思います。このFの音が基音になりますので、美しい声をお願いします。

- ・180～183小節：ハーモニーが崩れないように。'nimmermehr'の'-mer-'が「マー」と開きすぎるとピッチが下がるので注意。

特に181小節からのテノールは同じ音で母音が変わるのでよく注意してピッチを保ちましょう。

- ・186～187小節（テノール）：C-D-Eの上昇音形を高めをお願いします。187小節のEの音は母音が'a'のため、特に注意。
- ・193小節（テノール）：テノールだけEの音を歌います。合唱にGがないので合わせにくいと思いますが、高めに取りましょう。
- ・202小節（バス）：アルトとオクターヴになることを意識して下がりすぎないように。

・203小節（アルト）：2拍目のFisの練習をしました。201～204小節のフレーズは全て裏声でお願いします。

★Befiehl dem Engel, dass er komm：1度通しました。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

<練習番号A>

・39小節：1拍目は語尾ではあるものの4分音符なので、短すぎないように。

★Der Herr ist mit mir

・6小節（アルト）：パート内で声を揃えましょう。以前のご注意で「最初の'Der'は軽く、次の'Herr'を上からしっかりと入る」と言われています。前奏でしっかりと準備をして音をイメージして歌い出すと良いかと思います。

・9小節：1拍目の'nicht'は8分音符です。内切りで合わせてください。

・150小節（テノール）：入りのタイミングもその後のテンポもアルトと合っていません。

指揮を見ていれば入れるはずですが、それまではオケのみですが、合唱の出るタイミングを明確に指示されています。正確をお願いします。

・172小節（テノール）：先生から特にご注意ありませんが、音を間違えています。ソプラノのオクターヴ下で出てしまっています。確認をお願いします。

★Was frag ich nach der Welt：1度通しました。

備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年8月11日（日）

練習箇所

Dieterich Buxtehude

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

Der Herr ist mit mir

Was frag ich nach der Welt

Befiehl dem Engel, dass er komm

Georg Philipp Telemann

Ein feste Burg ist unser Gott

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

Der Herr ist König

記事

幡ヶ谷のアスピアで13:30～17:00まで臨時練習を行いました。

全体発声：30分

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

<練習番号A>

・8小節：全体のバランスとしてアルトが前面に出るようにしっかりと。

男声は高いレの音から入るので、事前にイメージして上から入りましょう。

・以前注意がありましたが、'uns'の語尾をきちんと発音して次の'schei-'の子音を歌い直す。

今だと「ウンシャイ」と聞こえます。

・男声：例えば11小節の'Gottes'のように、フレーズの終わりが5度（この場合はA-D）下りる音形で、語尾の母音がひしゃげてしまわないように。「テー」とならないように曖昧母音をお願いします。

<練習番号B>

・ソプラノソロ：気張らずに丁寧に歌って声を揃えましょう。

・54小節：2拍目と3拍目の間は繋げます。52小節の'nichts, nichts soll〜'から56小節'Liebe'までワンフレーズです。

<練習番号C>

・アルトソロ：個別に丁寧に練習しました。特に25小節からの低い音域のところは難しいですが、しっかり表声を使って発音してください。31小節のGisはきちんと下りること。

・54小節：練習番号Bと同様ノンブレスをお願いします。

<練習番号D>

・23小節（男声）：Bの音はしっかり上がりましょう。少し低めに入っています。

・26小節〜：'göttliche'のオーウムラウトはもう少し'o'の要素を多くしてください。「ゲー」にはならないように。

### ★Der Herr ist mit mir

・30小節：1拍目の'nicht'が四分音符になっていることに注目しましょう。

冒頭の9小節や19小節などは八分音符ですが、この30小節のフレーズは27小節4拍目の'darum'から最後31小節までずっと繋がっているイメージをもって歌います。

・38小節：和音の変化を感じながら歌いましょう。39小節はファラドの和音からドミソの和音へ移行しています。この最後の'tun'の和音が38小節最初の'Was'の和音に戻るか、が鍵です。

特にテノールのEsの音は高めに入るようにお願いします。

・49小節：以前に注意ありましたが、ここは例外的に外切りで合わせます。先生の指揮に合わせて切ってください（次のAdagioを意識して少しゆっくりにしています）。

・150小節：伴奏はオルガンのアドリブなので、低弦のCの音を頼りにEs/Gの音取りをします。

テンポ感も、直前まで3拍子で拍が異なるので、よく指揮を見て歌い出してください。

・154小節（バス）：オクターヴ下に下がるところを注意。今は下がり切っていません。

### ★Was frag ich nach der Welt

一度通してから各練習番号単位に確認しました。まだ若干言葉に慣れていないところが散見されるので、各自復習をお願いします。

・全体的に、裏拍から出るところが前に突っ込み過ぎる傾向があります。

八分休符をきちんと意識して歌い出します。またその次の表拍も突っ込んでしまうので、オンビートで入れるようにリズム感をつかみましょう。

・'frag ich'の歌い方：以前もご注意ありましたが、どうしても'frag'の語尾の[k]を飲み込んでしまいがちです。しっかり[k]の時間を作ってから'ich'を言い直しましょう。場合によっては「キ」と聞こえてしまう場合もあるようです。

・17小節（男声）：3拍目裏のFisがFになってしまう場合があります。この音形は繰り返し出てきますので注意して歌いましょう。

・30小節（男声）：4拍目'Zeit'のような符点音符は早めに処理して次の言葉をリズムよく出せるよう工夫しましょう。この場合、裏拍は子音[t]が来て少しすき間があって、次の'be-'に繋がります。

（ほかにも同様の箇所はたくさんありますので各自で見つけてください）

・56小節〜：言葉さばきがまだうまくいっていません。パートで縦の線が揃えられるよう練習してください。

・56小節（男声）：ここだけではありませんが、3拍目のAの音が下がる傾向にあるので注意してください。

・98小節（男声）：音符一つずつ歌いにならないように。表拍に重心をかけて抑揚をつけましょう。

・129小節（アルト）：G-Gの1オクターヴの跳躍は難しいですが、上手に切り替えて上の声に持って行ってください。

・127小節、131小節（アルト）：3拍目のAの音は上から入ります。パート内で声を揃えましょう。

★Befiehl dem Engel, dass er komm : 1度通しました。

### ★Ein feste Burg ist unser Gott

・全体的に細かい音符のところ「ガチャガチャ」し過ぎています。もっと各パートがフレーズを見つけて抑揚をつけて歌うと「ガチャガチャ」とは聞こえてこないはず。

2回通しましたが、2回目の方が優麗な音楽に聞こえて来たと言っています。各自工夫してみてください。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi：1度通しました。

★Der Herr ist König：1度通しました。

備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年8月7日（水）

練習箇所

Georg Philipp Telemann

Ein feste Burg ist unser Gott

Dieterich Buxtehude

Befiehl dem Engel, dass er komm

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

Der Herr ist mit mir

Was frag ich nach der Welt

記事

全体発声：27分

<内容>

・なるべく譜面を見ないように。指揮を見て歌いましょう。

★Ein feste Burg ist unser Gott

・音符を一つずつ歌いがちです（バス）。言葉を頼りにして立体感のあるフレーズを作っていきましょう（全パート）。

・アルト：41小節近辺、気張り過ぎないように。

・テノール：66～68小節でいつも走ってしまうので注意。

・テノール：97小節の2拍目のタイミングを指揮に合わせる。及び98小節のaが低くなりがちなので気をつけましょう。

・テノール：151小節近辺でピッチが低くなりがちです。特にファより高い音は喉をかたくせず裏声に入った声で解放させて歌いましょう。

・アルト：203小節のfisはずり上げるのではなく、上から入り、d-fis-aのハーモニーを綺麗に作りましょう。

・"nimmermehr"の"mehr"は長音ですが、母音がほとんど「イ」になっているので気をつけましょう。

★Befiehl dem Engel, dass er komm

・テノール：138小節のeのピッチが下がっています。上から入るように。前の小節の入りのfも同様です。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

<記号A>

・男声、ソプラノ：34小節の2分音符、少しだけ膨らみをつける。38小節の男声の全音符も同様に。

<記号B>

- ・男声：58小節の高いcは上から入り、ソプラノのgと5度が出来るように意識しましょう。

<記号C>

- ・アルト：1小節目の入り、しっかりと歌い出しましょう。

★Der Herr ist mit mir

- ・1回通して歌いました。

★Was frag ich nach der Welt

- ・1回通して歌いました。

備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年7月31日（水）

練習箇所

Georg Philipp Telemann

Missa brevis in C

Der Herr ist König

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

Ein feste Burg ist unser Gott

記事

全体発声：32分

<内容>

★Missa brevis in C

- ・先週の復習をしました。

6. Domine Deus

- ・14小節テノール：前の小節のカンマでブレスを取った後、上の方に体を開いて上から入りましょう。意識しないと音が下がって入ってしまいます。

7. Qui tollis

- ・アルト：輝かしい声で。特にソ、ラのあたり。

★Der Herr ist König

- ・水野先生の先週の指導内容に誤りがありました。
  - ・'Erdreich'の頭の'E'は短母音ではなく、長母音です。

- ・テノール：フレーズの最後の音でfisを歌う時、ピッチが下がりがちです。直前のeの音を上から入るのが鍵です。(30小節、52小節、65小節、80小節) 64小節のfisも気をつけましょう。

- ・69小節ソプラノ：カンマのところでフレージングします。

- ・今の活気に満ちた雰囲気はそのまま、しかし力まないように。

- ・テンポは速くても、焦らず落ち着いて、周りをよく聞いて歌いましょう（特にテノール、走っています）

- ・歌い出しの'Der'は力まず軽い声で。

- ・テノール：歌い出しの'Der'を上響きで歌いましょう。そして和音を意識してそこにはまるように。

・8分音符のパターンのところに入ったら、もっと音楽を軽く（声も進み方も）。（31小節～、42小節～、等）今は8分音符の一つ一つを歌い込み過ぎてブレーキがかかっています。1小節を1つ振りくらいの心持ちで軽く歌いましょう。

・全パート：4小節の1,2拍目のような音形の時、4度上がったところの声を、よく合わせるように。

#### ★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

・フーガの部分（9小節～）：全部の音符を前に出して歌い切っているの、音楽がうるさく感じます。引っ込んでいい音符は前面に押し出さないように。

例えば、11小節の2～3拍目のような音形で2つ目のdが一番いらぬ音。といったようなことです。

・テノール：28小節を中心に練習しました。fisから上の音は上の響きの裏声で。喉声ではピッチが合っていたとしても、他のパートと調和しません。難しい箇所ですが、各自練習をお願いします。

・19小節アルト：母音「エ」舌の付け根で支えて出そうとすると、ピッチが下がります。閉めずに開けて、そしてお腹で支えて。

<抑揚について>1拍目のような「16分音符+16分音符+8分音符」の音形では最初の16分音符が一番強く。8分音符は軽く。

#### ★Ein feste Burg ist unser Gott

・ハーモニーをいつも気にしながら歌いましょう。

・Strophe1の最後の小節に入る時、ブレーキをかけないでまっすぐ入ること（テノール）。

・68小節バス：hの音が低くなりがちです。注意して通過しましょう。

#### 備考

・録音機器の不具合により、一部録音が欠けている部分があります。申し訳ありません。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年7月24日（水）

#### 練習箇所

Dieterich Buxtehude

Befehl dem Engel, dass er komm

Georg Philipp Telemann

Missa brevis in C

Der Herr ist König

#### 記事

全体発声：33分

<内容>

#### ★Befehl dem Engel, dass er komm

・出だし10小節、最初の'Be-'を美しく決めましょう。'e'の母音を揃えること、'B'の子音で崩れないように。最初から正しいピッチで歌い出せるよう、各自で復習をお願いします。

・主和音となるドミソが出てくるところ(19小節や27小節など)のハーモニーを意識しましょう。

・51小節、'schlafen'の語尾は曖昧母音で。「フェーン」とはならないように。

・56小節はノンブレス。54小節～58小節をひとつのフレーズにすること。

・108小節の2拍目からAllegroになります。且つ内切りです。全員揃って終わらしましょう。

・112小節から何度も練習しました。アカペラでも歌えるよう音取り確認しておいてください。

### ★Missa brevis in C

#### 1. Kyrie eleison

・最初のドミソの和音を綺麗に決めましょう。特にChriste eleisonから戻った音が崩れやすいので注意。  
テノールのミの音を高め、そしてキープしてください。14小節のアルトのミも同様です。

#### 2. Christe eleison (ソプラノ)

・'e'の母音は広く。顎が締まらないように注意。

#### 5. Et in terra pax

・8～9小節テノール：Dの音を上から高めに取る。ソシレの和音が綺麗に決まるように丁寧に。

#### 6. Domine Deus

・どのパートも'Domine'と次の言葉の間でブレスはしないこと。カンマまでノンブレス。

#### 7. Qui tollis

・子音が強くなり過ぎないように。歌詞の意味を考えて丁寧に発音する。

#### 9. Cum Sancto Spiritu

・前の曲よりもテンポアップします。乗り遅れないように。  
・41小節、42小節の'Spiritu'の和音を決めましょう。ピッチも勿論ですが、発音のタイミングが合っていないと決まりません。

'Sp-'は無声子音ですので前に出して、'i-'の音がビートにのるように。

・【指示事項変更】44小節以降、8分音符を3連符にしていたが、楽譜通りにしてください。

(44小節、46小節、53小節、55小節)

・'Amen'の'-men'が強拍(1拍目)に来ることが何度もあるが、あくまで語尾であることを意識しましょう。

'A-Men'と言い直さない。

### ★Der Herr ist König

・曲のテンポ感に慣れるように何度も通して練習しました。

・冒頭、特に男声が遅れます。指揮を見ることは勿論ですが、子音の処理が不味いと間延びしますので、子音を前に出すことを意識してください。

・'Erdreich'の発音に注意。頭の'E'は短母音です。「イ」になり過ぎないように注意。

・テノールの出だしの音取りを正確に。短い音ですが、発音も正確をお願いします。

備考

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2019年7月17日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude

Der Herr ist mit mir

Was frag ich nach der Welt

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

## 記事

全体発声：37分

<内容>

### ★Der Herr ist mit mir

- ・170～171小節のバスパートのピッチとリズムを丁寧にさらいました。
- ・"Alleluja"の"lu"にアクセントが付きます。何拍目に"lu"がきてもアクセントが付くように。
- ・Adagio (38～39小節、50～51小節) のハーモニーを整える練習をしました。違うパートでも同じ音色になるように。そして母音によってピッチの精度に差が出ているので、それも踏まえて注意深くハーモニーを作りましょう。

### ★Was frag ich nach der Welt

<練習記号O>

- ・男声パートのリズムの特訓をしました。休符後の音の入りが遅い、及び「4分音符－8分音符」のリズムで4分音符が間延びすることで、どんどん遅くなってしまいます。

<練習記号A>

- ・出だしの"Was":男声は上の響きで。

<練習記号C>

- ・歌い出しの声を整えて入りましょう。
- ・"ich"の"i"は食いしばらないように。ピッチが下がります。

<練習記号E>

- ・56小節：男声パートはハーモニーを作る上で重要な音なので注意深く丁寧に。

### ★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

<練習記号D>

- ・1小節目の入りは、間奏から拍子通りにin tempoで入ります。

## 備考

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年7月10日 (水)

## 練習箇所

Dieterich Buxtehude  
Der Herr ist mit mir

## 記事

全体発声：36分

<内容>

### ★Der Herr ist mit mir

ゆっくりしたテンポで全体のハーモニーを確認しながら丁寧に練習しました。

ここから徐々にテンポアップ出来るよう、各自復習をお願いします。

- ・6小節アルト：前奏で充分準備をして歌い出しましょう。
- 'Der'音は低いですが、上の響きで歌います。'Herr'の'e'の響きを深く。生声にならないように軟口蓋を上十分に開けて出しましょう。
- ・7～8小節バス：響きが下に行かないように、ハーモニーを意識しながら歌う。
- ・38小節全体：その前の「ラドミ」の和音から「ファラド」の和音を頭の中でイメージしてから出す。
- ・50小節全体：ここは「ラドミ」から「ドミソ」。こちらの方がイメージしやすいが、各自が頭に描いてから声を出す。
- ・85小節～：'meine'の'-ei[ai]-'は明るく上の響きで。こもらないように。
- また、'-ne'で音が下がらないように。ここは曖昧母音です。「ネ」と歌ってしまうと音が下がります。
- ・106～113小節：各小節の1拍目の和音を意識しながら歌いましょう。特に108小節、110小節、112小節を決めるように、上3声ピッチよくお互い聴き合いながら歌いましょう。
- ・184～186小節テノール：EsとFの音が低めになりやすいので注意。響きを常に上に持っていき、ハーモニーを意識しながら歌う。ソプラノと音がぶつかることもわかった上でピッチを正確にお願いします。

### 備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年6月30日（日）

### 練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Ein feste Burg ist unser Gott  
Dieterich Buxtehude  
Befiehl dem Engel, dass er komm  
Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes  
Der Herr ist mit mir  
Was frag ich nach der Welt (Alleluya)

### 記事

全体発声：35分

<内容>

★Ein feste Burg ist unser Gott

<テノールパートを中心に練習しました>

- ・母音が変わると響きが変わりやすい。常に上の響きで歌うように心がけましょう。
- ・100小節の1拍目のように、下に音が下がった時のアの母音は喉が硬くなりやすい。柔らかい状態で発声すると、ピッチが安定します。
- ・148小節："Gottes"の"G"は有聲子音でなおかつ破裂音なので、不用意に歌い出さないように。歌声として整えて歌い出しましょう。
- ・上のレ、ミから上の音は裏声の状態の上の響きだけで歌うとピッチが安定し、全体のハーモニーに溶け合います。

★Befiehl dem Engel, dass er komm

- ・75小節の男声パートのように、言葉が途中で終わるフレーズの時は、消えるように処理してください。
- ・ALLEGROの「Amen」の抑揚の付け方について説明がありました。
- ・112小節からのAmen：一番強く歌うのは"men"の直前の音。この音に向かって歌います。ヘミオラの時は、このよ

うに抑揚をつけてください。

#### ★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

- ・10小節1拍目裏から始まる文章のフレーズがブツ切れにならないように。（3拍目の「scheiden」の語尾が尻切れトンボになり過ぎないように）他の箇所も同様です。
- ・記号「D」から先はフレーズを長くにとって抑揚を付けて歌いましょう。（長い周期の波をイメージして）
- ・付点のリズムのところは重要な言葉が載っている事が多いです。抑揚をよく付けて歌いましょう。

#### ★Der Herr ist mit mir

- ・156小節からの音形：響きが落ちやすい音形なので気をつけましょう。入りの"A"の母音がしっかりピッチを掴んでいるか注意。
- ・170小節からのバスのフレーズ：前のフレーズから、まっすぐに躊躇せず入りましょう。

備考

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年6月26日（水）

#### 練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Missa brevis in C  
Der Herr ist König  
Der Gott unsers Herrn Jesu Christi  
Ein feste Burg ist unser Gott

#### 記事

全体発声：34分

<内容> どの曲もハーモニーを整える練習を、それぞれ気になる場所を取り出して練習しました。全てに共通する点は『音色』。正しい発声で、どのパートも同じ音色でないと、例えピッチが正しくてもハマりません。

特にテノールはE（ミ）の近辺の音を、裏声を上手に使うとアンサンブルの精度が上がります。今日練習したテレマンの曲はハ長調を基調とした曲が多く、フレーズの最後、終止形の和音はテノールが第3音（ミ）を担当することが多いです。ドミソの和音が美しく響くよう、意識して練習していきましょう。

また、特に個別のご注意はありませんでしたが、各自発音については改めてチェックし、ドイツ語に聴こえるよう練習していきましょう。

備考

[冒頭へ](#)

2019年6月19日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude  
Was frag ich nach der Welt  
Der Herr ist mit mir  
Georg Philipp Telemann  
全曲

記事

全体発声：34分

<内容>

★Was frag ich nach der Welt

<練習記号O：男声パート>

- ・フレーズに入る直前で慌てて息を吸うと歌い出しのタイミングが遅れがちになります。間奏のオケの音楽のリズムに乗って、余裕を持って息を吸いましょう。
- ・8分音符休符後の歌い出しがどうしても遅れるので各自音源を聞くなどして練習してください。

★Missa brevis in C

- ・<Kyrie eleison>の1小節目のハーモニーが不安です。特に注意してください。

★Der Herr ist König

- ・71小節～下3パート：4拍目はソプラノの8分音符によくタイミングを合わせましょう。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・6小節：3拍目は大事な和音です。ハーモニーをしっかり決めましょう。
- ・7小節：転調（ハ長調）していることを意識して3拍目のドミソの和音をしっかり決めましょう。

★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・95小節、96小節テノール：2拍目のaの音が落ちすぎる人がいるのでよく声を揃えましょう。
- ・99小節～テノール：母音を長めに歌いましょう。100小節1拍目、101小節1拍目のような下に下がる音の時、ピッチが安定します。

★Der Herr ist mit mir

- ・38小節：ハーモニーを調整しました。
- ・150小節からの部分を丁寧にさらいました。

備考

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2019年6月12日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude

Befiehl dem Engel, dass er komm

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

Der Herr ist mit mir

Was frag ich nach der Welt

## 記事

全体発声：32分

<内容>

★Befiehl dem Engel, dass er komm

一度通しました。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

Tuttiの部分を取り出して練習しました。

・"uns scheiden"の歌い方

"s"の前に"n"があるので、「ス」ではなく、[tʃ]（あえてカナ書きすれば「ツ」）になって良いので、次の"sch-"と分けて発音すること。

細かい音符だが、"u-n-s"をそれぞれきちんと発音する。"n"を前の方で発音するとスムーズに"s"が出る。

また、"sch-"と"-ei-[ai]"も分離する。「シャイデン」にならないように。

今は平たく言うと「ゾーウ(ン)シャイデン」に近い発音になっています。

各自で繰り返し発音して復習をお願いします。

・"Gottes"は語尾になるので「テース」とは言わず、曖昧母音で収める。但し、短くなり過ぎないこと。四分音符の音価は保つこと。

・練習番号BおよびCの52小節と54小節のハーモニーに注意する。

・練習番号Dの19小節はソプラノのブレスに合わせて切る。

・練習番号Cのアルトソロを丁寧に練習しました。欠席された方は録音で注意事項を確認しておいてください。

★Der Herr ist mit mir

・8小節のテノールの音とリズムを丁寧に確認しました。

・その他、特段注意事項はありませんでしたが、今までに受けた注意を各自確認をお願いします。

★Was frag ich nach der Welt

・アルトソロの前まで通して時間切れとなりました。来週練習します。

## 備考

 [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年6月5日（水）

## 練習箇所

Georg Philipp Telemann

Der Herr ist König

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

Ein feste Burg ist unser Gott

Dieterich Buxtehude

Befiehl dem Engel, dass er komm

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

## 記事

全体発声：40分

<内容>

・少しずつでも覚えて、顔をあげて歌えるようにしましょう。

### ★Der Herr ist König

・ハーモニーをよく聴きながら意識して歌いましょう。

・パート内の声が揃っていないところがあるので、よく合わせるように。

### ★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

・13～17小節、21～25小節アルト：声を揃える練習をしました。

・一本調子にならないように。リズム的な抑揚が失われてしまいます。

### ★Ein feste Burg ist unser Gott

・1回通して歌った後、Strophe4の終止形の部分のハーモニーを重点的に調整しました。よく意識して歌うように。

・203小節のアルトのfisがハーモニーの中に入るように。上から入って下に落ち着く意識で。

### ★Befiehl dem Engel, dass er komm

・間奏のあとの出だしのタイミングとピッチに注意しましょう。（特に直前の和音と違う時）

### ★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

・"uns"の子音をしっかりシャカリキに発音しましょう。「ウン」になってしまっています。（特に男声）

## 備考

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年5月29日（水）

## 練習箇所

Georg Philipp Telemann

Ein feste Burg ist unser Gott

## 記事

全体発声：35分

<内容>

### ★Ein feste Burg ist unser Gott

・テノールとアルトを中心に、Strophe1 と2を細かく練習しました。

・15小節から26小節、41小節から52小節は特に下3声でハーモニーを意識しながら正しいピッチで歌えるよう、各

自ポイントをお渡ししておいてください。

- ・ 97、98小節のハーモニーがしっかりと響くよう、カンブレなど上手く使って最後までハモリを維持しましょう。
- ・ 115小節、136小節のハーモニーが決まるよう、特にテノールは高めに入り直してください。

## 備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

## 2019年5月22日（水）

### 練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Missa brevis in C  
Ein feste Burg ist unser Gott  
Der Herr ist König

### 記事

全体発声：46分

<内容>

#### ★Missa brevis in C

- ・ 9.Cum Sancto Spirituで以下の変更がありました。  
44小節2拍目裏の8分音符は3連音符の3つ目の音に合わせます。46小節、53小節、55小節も同様です。

#### ★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・ 全曲通して歌った後、Strophe4のコラールのハーモニーを修正しました。
- ・ 全ての音を全体のハーモニーをよく聴きながら歌いましょう。
- ・ Strophe1～
  - ・ アルト：言葉の抑揚を生かしてフレーズを作ってメロディに聞こえてくるように歌いましょう。一本調子にならないように。（他のパートも同様に）
  - ・ 5ページに入ってからテンポがずれるなど、合唱が不安定になっています。合唱団全体の声を聞くようにして歌いましょう。言葉が忙しいところで急ぐ傾向があるので気をつけましょう。（特にテノール）
  - ・ 97小節テノール：2拍目Bは前の音と同じですが、少し切って歌い直してメロディの輪郭がはっきりするように。（この部分のテンポの主導権を握っているのはテノールです）

#### ★Der Herr ist König

- ・ 71小節下3パート：4拍目の4分音符がソプラノの8分音符と噛み合うように。少し前倒しになっている。（72～76小節も同様）

### 備考

♪演奏会のお知らせ

渋谷混声合唱団第25回定期演奏会（創立35周年記念演奏会）

7月6日（土） 13時30分開演（13時開場） 東京オペラシティ コンサートホール タケミツメモリアル

指揮： 水野 克彦

ソプラノ： 佐竹 由美

アルト： 谷地 敵 晶子  
テノール： 大島 博  
バス： 萩原 潤  
オーケストラ： Symphonia Fons Harmoniae

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2019年5月15日（水）

### 練習箇所

Dieterich Buxtehude

Der Herr ist mit mir

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

Befehl dem Engel, dass er komm

Georg Philipp Telemann

Missa brevis in C

### 記事

全体発声：30分

<内容>

★Der Herr ist mit mir

- ・"ist mit"の言葉が付点になっているところは、特に語尾をはっきり発音できるよう、子音の時間を作りましょう。
- ・170小節からのバスソロ部分は伴奏と合わせて練習しました。付点のリズムがヴァイオリンのメロディと合うように。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

- ・最初から歌いながら、ソプラノ、アルトのソロ部分を個別に練習しました。
- アルトソロ後の全体合唱は和音のポイントとなる部分を整えながら練習しました。
- ・"von"の子音をはっきり発音しましょう。「ホン」にならないように。
  - ・練習番号Dの部分は、4小節を一括りで考えます。
- コンマのところでブレスし、言葉を活かして山を作るようにしてください。
- ・"göttliche"のオーウムラウトが「エ」になり過ぎないように注意。

★Befehl dem Engel, dass er komm

- ・100～101小節は、ヘミオラのようになっています。
- 特にバスは100小節1、3拍目と101小節2拍目に重心をかけて歌うと抑揚をつけやすくなります。上3声も意識しておきましょう。
- ・108小節からAllegroになります。テンポ感に注意。

★Missa brevis

来週の予告として1度通して歌いました。

- ・44小節からの"Amen"は49小節まで続いています。48小節に休符がありますが、そこで終わりではありません。出遅れないよう注意しましょう。
- そして、49小節2拍目裏から、改めて"Cum Sancto"と歌い出します。

2019年5月8日（水）

## 練習箇所

Dieterich Buxtehude  
Was frag ich nach der Welt  
Der Herr ist mit mir

## 記事

全体発声：34分

## ★Was frag ich nach der Welt

- ・各節ごとに言葉、リズム、ハーモニーを確認しながら丁寧に練習しました。
- ・ソロの節はパート内でよく合わせて歌いましょう。
- ・男声は全体的にスラーのかかったフレーズのところを角を付けて歌っているのが目立ちます。テンポの遅れにも繋がるので、なるべく角をつけずに歌いましょう。

## ・練習記号O

&lt;男声&gt;

- ・休符の後の歌い出しが遅れるので、慣れる為に何回も繰り返し練習しました。
- ・特に、162小節、176-177小節、186小節は録音を聴きながらたくさん練習してください。
- ・フレーズの中の8分休符はなるべくブレスをしないように。ブレスをするときは、その前の付点4分音符を心持ち気づかれぬ程度に短くする。

- ・練習記号A：男声が遅れがちになるところがあるので、他のパートもよく聞いて歌いましょう。

## ・練習記号C

## ・練習記号E

- ・"frag"の"ng"をタイミングよく入れて、次の言葉の"ich"がリズム通り入るように練習しました（以前も練習しています）。例えば、67小節、70小節、71小節。早すぎても遅すぎてもダメです。他の箇所でもこのパターンが出てきたら、同じようにタイミングに注意して歌いましょう。
- ・言葉に慣れるようにしましょう。

## ・練習記号G

## ・練習記号J

- ・96小節男声：言葉が癒着しないように、言い回しを練習しました。（癒着するとテンポの遅れに繋がります）

## ・練習記号L

- ・子音を立てるなど、発音を重点的に練習しました。例えば"hoch"の"ch"、"wohl"の"w"。

## ・練習記号N～O

★Der Herr ist mit mir

- ・ハーモニーをチェックしつつ全曲を歌いました。
- ・速いテンポに慣れるよう、各自練習しましょう。

備考

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2019年5月1日（水・祝日）

練習箇所

全曲

記事

全体発声：40分

★Missa brevis

楽譜の見かけ上、男声の音の方が女声よりも上にある場合は、声が強すぎないように注意。  
これはどの曲にも当てはまることなので、常に意識して演奏しましょう。

★Ein feste Burg ist unser Gott

1度通した後、その場で録音を聴いてみました。

今はまだ、ただ音符を追っているだけになっています。言葉を意識して、フレーズに抑揚をつけて歌えるよう、各自で工夫をお願いします。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

Der Herr ist König

2回ずつ通しました。テンポについていけていません。また、以前注意されたところを直せていない点も多くあります。

各自復習をお願いします。

★Befiehl dem Engel, dass er komm

前半の4拍子を2回、後半3拍子を1回通した後、112小節から最後までを何度か繰り返し練習しました。

前のページの108小節からAllegroになりますので注意してください。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

1度通して歌いました。

8小節の出だしはページを捲ってすぐに出ますので、全員揃って出られるよう、前のページに印をつけておいてください。

★Der Herr ist mit mir

最初にバスのソロ部分を練習した後、全員で練習しました。

今までに注意を受けた箇所を確認しておいてください。

★Was frag ich nach der Welt

1度通した後、後半のtutti部分をテンポを落として復習、その後最後のallelujaを繰り返し練習しました。

男声が休符後の歌い出しが遅れるので、3拍子のテンポを感じながら歌えるよう練習をお願いします。

#### 備考

練習前の話し合いで出たご意見を反映し、改めてご案内いたします。ご協力ありがとうございました。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年4月24日（水）

#### 練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Missa brevis in C  
Ein feste Burg ist unser Gott

#### 記事

全体発声：35分

<内容>

##### ★Missa brevis

・全曲を、響き、ハーモニー、発音を細かく確かめながら練習しました。

縦のメロディラインが揃う箇所が多いのでピッチが違くと目立ちます。ハーモニーをよく聴きながら歌いましょう。

また、歌い出しの発音のタイミングも揃えましょう。

パートによってそれぞれの音色を出すのではなく、全てのパートが同じ音色になるように。（音色が混ざり合うように）

##### ★Ein feste Burg ist unser Gott

・最初に通して歌ってから、Strophe1のアルト、バスパートをしっかり練習しました。

特にアルトパートは主に節回しについて内容の濃い指導がありました。

長い音符は同じ音量で歌うのではなく、抑揚をつけると音楽的になる。

言葉のアクセントを考えて抑揚をつける。

8分音符2つのところに"ein"など言葉が一つの時、音の輪郭をはっきりさせる。等々。

高音の所で、声が揃わないと目立ちます。上からしっかり入りましょう。

#### 備考

♪次週は13時～13時30分にミーティングを行います。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年4月17日（水）

#### 練習箇所

全曲

## 記事

全体発声：31分

<内容>

### ★Missa brevis

各楽章の最初の音は、各自が頭の中でハーモニーを鳴らしてから声を出しましょう。  
第3曲や、第5曲、第7曲など、注意要です。  
また、第7曲32小節の下3声も、ソプラノのCisから和音を想像して入りましょう。

あとは、全曲通しただけの練習になりました。  
まだまだ、言葉が喋れていない箇所や音を正確に取れていない箇所が多くあります。  
各自復習をお願いします。

### ★Der Herr ist mit mir

・172小節テノール：音を間違えて覚えていると思われれます。正しくはAですが、今はC（ソプラノのオクターヴ下）から歌っています。  
何度か指摘されていますので、確認の上修正をお願いします。

## 備考

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2019年4月10日（水）

## 練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Ein feste Burg ist unser Gott  
Der Gott unsers Herrn Jesu Christi  
Der Herr ist König

## 記事

全体発声：40分

<内容>

### ★全体

- ・言葉の語尾の子音をしっかり発音しましょう。
- ・周りを聞きながら歌いましょう。テンポ、ハーモニーに気を配りながら歌いましょう。

### ★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・111小節："und"の"u"の発音、響きが良い状態かどうか確かめながら練習しました。
- ・テノールが単独で出るところ（99～100小節、120～122小節）：発音、響きを調整しつつ練習しました。

### ★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・音符が多く忙しい曲なので、自分の出している音を1つずつ自覚して歌い、曲に慣れるようにしましょう。
- ・ゆっくりのテンポで、周りの音を聞きながら、テンポ、そして自分の声がハーモニーに入っているかどうかを確認

しながら練習しました。

★Der Herr ist König

- ・全部の言葉の発音を丁寧に。特に語尾の子音をしっかり発音しましょう。

備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年4月3日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude

Befiehl dem Engel, dass er komm

Georg Philipp Telemann

Ein feste Burg ist unser Gott

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

記事

全体発声：40分

<内容>

★全体：楽器を常に上に上げて、高い響きで発声することを忘れずに。

★Befiehl dem Engel, dass er komm

- ・前奏からの入りはテンポ変わりませんので遅れないよう注意。
- ・引き続きハーモニーを意識しながら練習しました。
- ・108小節：2拍目からアレグロに変わります。アレグロのテンポで、内切りで揃えましょう。

★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・Strophe1を中心に練習しました。
- ・細かい音符を雑に歌い飛ばさず、丁寧に。
- ・Strophe1と2の間は少し間を空けてから入ります。（今後変わる可能性もあるため要注意）

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・冒頭8小節は、ハーモニーを決めるポイントとなる場所（※）を綺麗なピッチで通過出来るよう意識しましょう。

※3小節4拍目、5小節4拍目、7小節3拍目

備考

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年3月27日 (水)

## 練習箇所

Dieterich Buxtehude

Was frag ich nach der Welt

Der Herr ist mit mir

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

## 記事

全体発声：30分

<内容>

・オケ部分とチェロバスのみの伴奏で練習しました。

★Was frag ich nach der Welt

・男声：間奏から歌い出すタイミング、音に慣れましょう。

・練習記号J:32分音符の早い動きに慣れましょう。

★Der Herr ist mit mir

・ハーモニーを重点的に意識して練習しました。声が重たくなるとピッチが下がり目立ちます。

また、言葉の語尾も緩んで下がりやすいので気をつけましょう。

・49小節："nicht"は、外切りにします。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

・ハーモニーを意識して練習しました。

・通奏低音だけの伴奏の時は、特に和音を意識して歌いましょう。

・発音："uns"の"s"をちゃんと発音しましょう。

## 備考

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2019年3月21日（木・祝日）

## 練習箇所

Dieterich Buxtehude 4曲

Befiehl dem Engel, dass er komm

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

Der Herr ist mit mir

Was frag ich nach der Welt

## 記事

全体発声：33分

<内容>

★Befiehl dem Engel, dass er komm

・ハーモニーを意識しながらア・カペラで練習しました。

- ・和音が変わるところや、母音が変わるところのピッチに注意。
- ・50小節～3拍子のところは、4小節1フレーズで歌う。
- ・間奏の後の出だしの音をイメージして出す。特に130小節のH（ソプラノ・バス）は注意要。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

- ・ソプラノソロ、アルトソロを個別に練習した後、全体合唱の練習をしました。
- ・基本的に内切りです。8分音符の時に語尾が次の拍にかからないように注意。
- ・練習番号Dはそれまでと歌詞が違います。まだ慣れていないところが多いので、各自復習をお願いします。

★Der Herr ist mit mir

- ・170小節からのバスソロを個別に練習した後、全体合唱の練習をしました。
- ・56小節からの3拍子。Allegroのテンポにのれるよう（特に85小節以降）、各自復習をお願いします。

★Was frag ich nach der Welt

- ・1度通しました。また次週練習します。

備考

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2019年3月20日（水）

練習箇所

Georg Philipp Telemann  
 Missa brevis in C  
 Ein feste Burg ist unser Gott  
 Der Herr ist König  
 Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

Dieterich Buxtehude  
 Befehl dem Engel, dass er komm

記事

全体発声：26分

内容  
 ★Missa brevis in C  
 ・Kyrie  
 ・1小節アルト：声帯を閉じて張りのある声で入る。10小節も同様。  
 ・9小節アルト：Gまで上がりきっていない。声帯が閉じていないことも要因の一つ。背筋を使って後頭部を尾てい骨の方に引っ張ることにより声帯が閉じてきて、ピッチが整うことを確認した。体を使って坂道を登るみたいにして歌うこと。  
 ・11小節～12小節1,2拍目テノール：大きな声で自信を持って。  
 ・Christe eleison ～ Cum Sancto Spiritu  
 1回通して歌いました。

★Ein feste Burg ist unser Gott

## ・Strophel

- ・52小節から練習しました。

### <アルト>

- ・54小節2拍目：上の響きで入る。
- ・59小節2拍目：上から入り直す。
- ・61小節："böse"の"e"の発音は曖昧に。G-Fの下降形は丁寧に。Bは上の響きで。音が正しく当たるように。
- ・70小節2拍目：上の響きで。声を集めて。子音"gr"からDの音で入る。
- ・77小節：喉声、雑音が聞こえる。上の響きで歌いましょう。
- ・86小節："auf"が下がらないように。上の響きで。"Erd"は、喉を締めない。および正しい音で。
- ・88小節："ist"を丁寧に。

### <テノール>

- ・97小節：タイの後、軽くプレスする。そうすると次の出だしの音がはっきり出やすくなる。
- ・65,6小節："mit" "Ernst"のピッチが落ちないように。"Ernst"の"E"を発音するとき、舌が固まらないように。

- ・最初から早めのテンポで歌いました。

## ・Strophe2

- ・"Gottes"の"Go"で音がブレ気味になるので気をつける。

## ・Strophe4

- ・ハーモニーを綺麗にしましょう。ハーモニーに集中するためにヴォカリーゼで練習しました。

## ★Der Herr ist König

・テノール、アルトが主に担う中音域は、裏声と表声の境目が特に難しい。裏声と表声をどれくらい塩梅するかで正確さが変わってくる。例えばテノールはE,Fisの二つの音は声帯が緊張して閉まり声が重くなりやすいので声帯を薄く伸ばして裏声を混ぜて調節すると良い。

## ★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・"Erbes"の"E"は長母音ではありません。
- ・7,8小節のハーモニーを練習しました。7小節の"Augen"の"A"と発音したところで下がりやすい。そして4拍目表のハーモニーが明るく響くように。アルトが重くならないように。

## ★Befiehl dem Engel, dass er komm

- ・1回通して歌いました。

備考

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年3月13日（水）

練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Der Gott unsers Herrn Jesu Christi  
Der Herr ist König  
Ein feste Burg ist unser Gott

記事

発声個人レッスン：大久保さん  
全体発声：26分

## 内容

### ★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

一度通した後、冒頭8小節をテノール中心に練習しました。

- ・テノール：常に響きを高く上げ、上から声を出すようにしましょう。

特にCから上の音は要注意です。

- ・アルト：同じ高さの音・母音でも、間に子音が入ることで下がりやすくなる場所があるので、新たに上から入り直すようにしましょう。

(6小節1拍目、8小節1拍目など)

### ★Der Herr ist König

- ・最初のテーマの歌い方を改めて確認。(小節番号はバスを例示)

- ・ドイツ語の語感を活かし、言葉は分けて発音する。

但し音をぶつ切りにしてはNG。音は繋がりながら、言葉が明瞭に聴こえるように。

- ・'König': 「ケーニヒ」ではありません。オーウムラウトが「エ」にならないように、口を狭い'o'にしましょう。
- ・2~3小節：8分音符が走らないよう、丁寧に歌う。どのパートも詰まり気味に聞こえます。
- ・'Erdreich': 'Erd-'の語尾を拍内できちんと発音してから'-reich'の巻き舌を作り直す。

今は次の小節に語尾がかかっているため、遅れて聞こえます。

なお、この'E'は長母音です。

- ・14,15小節テノール：2拍目裏の8分音符が落ちやすいので丁寧に上から入る。バスの37,38小節も同様。ハーモニーの中で動くことを意識する。

- ・30小節全体：1拍ずつハーモニーが変わるが、崩れないようにピッチを保つこと。

- ・53~58小節、71~76小節全体：4分音符で合いの手を打つ3声は、2拍目裏の4分音符で飛び出さず、揃って出ること。

1拍目表を長めに歌うのがポイントです。

### ★Ein feste Burg ist unser Gott

Strophe 2 から練習しました。

- ・99小節テノール：それまでへ長調だった音楽がハ長調に変わります。

意識しないと100小節でFを歌ってしまいがちです。

最初に伴奏で和音が鳴りますが、あとはア・カペラですので、前の小節からGの音をイメージして出すこと。

- ・100小節テノール1拍目裏のAはアルトのGとぶつかります。強引に上に上げないとアルトに引っ張られるので注意してください。121小節も同様。

最後にStrophe 1、後半52小節から返して練習しました。この辺から言葉が立て込んでいるところがまだ不馴れなので各自練習をお願いします。

- ・55小節テノール：2拍目裏Bの音はアルトのCとぶつかることを意識して歌う。

## 出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江

テノール：翁長 大庭 柿沼

バス：椎野 中西

全員出席

## 備考

♪発声個人レッスンの予定

3/21 中西(ソプラノ)、大友

3/27 濱野  
4/03 翁長  
4/10 大庭 (テノール)  
4/17 柿沼  
4/24 椎野  
5/01 佐藤  
5/08 堀江  
5/15 辻村  
5/22 大久保  
5/29 大庭 (アルト)  
6/05 濱野  
6/12 堀江  
6/19 大庭 (テノール)  
6/26 柿沼  
6/30 大友

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年3月6日 (水)

#### 練習箇所

Dieterich Buxtehude

Was frag ich nach der Welt

Der Herr ist mit mir

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

Befiehl dem Engel, dass er komm

Georg Philipp Telemann

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

#### 記事

発声個人レッスン：辻村さん

全体発声：35分

内容

★Was frag ich nach der Welt

◎練習番号C

・ "frag"の語尾"g"の発音のタイミングについて

1. 4分音符の時：音価を4分割（16分音符が4つ）して4つ目のところで発音する。

2. 8分音符の時：同様に2分割（16分音符が2つ）して2つ目のところで発音する。

いずれも次の言葉の"ich"とリエゾンしないように。そして母音がついて「ク」にならないように。

◎練習番号O

・ 162小節男声：休符前の付点4分音符が間延びするとテンポが遅れる原因になる。音の長さは正確に。他の小節も全て同様です。

★Der Herr ist mit mir

・ 6小節アルト：出だしの"Der"は上の響きで。

- ・56小節からの3拍子のAllegroの部分は最終的には一つ振りのテンポで歌えるようにしたい。
- ・170小節のバスのソロ部分の練習をしっかりとやりました。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

- ・16分音符の"uns"の"ns"をしっかりと言う。
- ・"von"をしっかりと口を動かして言う。喋りが浅くならないように。

★Befiehl dem Engel, dass er komm

- ・1回通して歌いました。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・1回通して歌いました。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
 アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
 テノール：翁長 大庭 柿沼  
 バス：椎野 中西  
 全員出席

備考

♪発声個人レッスンの予定  
 3/13 大久保  
 3/20 大庭（アルト）  
 3/21 中西（ソプラノ）、大友  
 3/27 濱野  
 4/03 翁長  
 4/10 大庭（テノール）  
 4/17 柿沼  
 4/24 椎野  
 5/01 佐藤  
 5/08 堀江  
 5/15 辻村  
 5/22 大久保  
 5/29 大庭（アルト）  
 6/05 濱野  
 6/12 堀江  
 6/19 大庭（テノール）  
 6/26 柿沼  
 6/30 大友

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年2月27日（水）

練習箇所

Georg Philipp Telemann  
 Missa brevis in C

記事

記事

発声個人レッスン：中西（バス）さん

全体発声：25分

内容

★Missa brevis in C

1.Kyrie eleison

・11小節テノール：それまでのフレーズから急に音域が低くなるので響きが落ちやすい。常に響きを高く上げたところから歌い出すようにしましょう。

2.Christe eleison

・37小節ソプラノ：2拍目は付点4分音符です。リズム確認をお願いします。

3.Kyrie eleison (=Nr. 1)

・全体：その前の「2.Christe eleison」が終わったら、曲の冒頭に戻ります。

前の曲最後の「ミソ#シ」の和音から歌い出し「ドミソ」の和音をイメージできるように、何度か練習しました。

7.Qui tollis peccata mundi

・19小節全体：3拍目の和音を確かめながら練習しました。'k'の子音と'a'の母音を離して発音し、ピッチが落ちないように注意しましょう。

「カ」と発音すると落ちてしまうので注意。

・29小節～バス：発音を明瞭に。ドイツ読みにしていますので、確認をお願いします。

'Qui'は[k-vi]の発音です。「クウイ」ではないので注意してください。

30小節'ad'と'de-'の'd'はリエゾンせずそれぞれ発音します。

31小節'Dei'の'e'は長母音です。

★Was frag ich nach der Welt

◎練習記号A

・全体：8分音符が続くところは表拍（'frag'や'nach'）を長く、裏拍（'ich'や'der'）は軽く短く、が基本です。

・13小節～全体：'du'の'u'の発音に注意。たまに「デュー」と聞こえます。口を丸くして正しい発音をお願いします。

・13小節男声：4拍目裏Gisは伴奏と音が違うので注意。

・17小節男声：1拍目裏の言葉を慌てず歌う。女声と縦を揃えることを意識しましょう。

《Point》1拍目表'-ag'の語尾[k]を16分音符の2つ目に入れる。

「子音も音符の要素として場所を作る」

これがポイントです。

そして、次の'ich'と'was'の間にコンマがあることを踏まえ、慌てず個々の言葉を丁寧に発音する。

3拍目表でまた語尾'-ag'です。これもEの音を16分音符2つに分割し、[a-k]と発音します。

3拍目裏はFisです。直前にFを通過しているので歌い辛いですが、意識的に半音上げましょう。

また、'i'の母音を縦にあげ、つぶさないように。天井を上げ、上からの響きで歌いましょう。

20～21小節も同様。その後3声の箇所は皆同じです。

◎練習番号E

・全体：練習番号Aと同じく、表拍（'Welt'、'Ehr'、'hoch'、'hab'、'denkt'など）を長く歌う。

・56小節全体：'sucht'の'u'は口を丸くすばめて発音する。

・56小節男声：4拍目表のFは上からの響きで。

・65～66小節男声：練習番号A 17小節同様です。走らないよう注意。

◎練習番号G (ソプラノソロ)

- ・76小節：'sucht'の子音[z]を前に出す。
- ・77小節：'nicht'の[n]も同様。前の'kann'の語尾とは分けて聴こえるように、改めて言い直す。
- ・78小節：'rasten'は表拍をしっかり長く、語尾はほとんど無くなる位にする。

切り替えて'sie habe〜'へ。ここも表拍を長く。

- ・79小節〜：3回出てくる'den Mammon'は1つずつ大きくなるイメージで。

'den'を上響きで。母音を縦に開ける。

- ・83小節：'weiss'は母音を伸ばし過ぎず、語尾の子音[s]の時間を作る。84小節'nach'も同様。
- ・84小節：'Gut'は4分音符です。短すぎないように。
- ・86小節：'Schatz'言葉の存在感を出す。少し膨らみをつけてたっぷり歌う。90小節も同様。

◎練習番号J

- ・96小節全体：'Welt'の語尾も子音の場所を作しましょう。伸ばし過ぎず、きちんと2拍目裏で[t]を言う。
- ・98小節全体：8分音符'wenn'（男声は'ihre'も）を長めに。
- ・102小節全体：'lang es'はリエゾンせずそれぞれ発音する。
- ・103小節全体：'-faellt'は発音もハーモニーも明るく、くぐもらないで。語尾は内切りです。
- ・110小節全体：2拍目裏のハーモニーは合唱にHの音が無いので取り辛いが、和音を意識して出す。

◎練習番号L (アルトソロ)

- ・118小節：'hoch'語尾の子音の場所を作る。次の'ge-'は母音の発音で声が不安定にならないように。縦に開ける。
- ・119小節：4拍目'nug'語尾の子音のタイミングを揃える。
- ・120小節：'duerfte'の'r'が聴こえないのできちんと発音する。語尾の母音は音色を揃えましょう。
- ・121小節：'wohl'の[w]は擦れる感じで。

後は時間切れで最後まで歌いました。

練習番号Oはテンポを上げていきたいので、特に男声はリズムにのれるよう練習をお願いします。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：大庭 柿沼  
バス：椎野 中西  
欠席：1人（テノール）

備考

♪発声個人レッスンの予定  
3/06 辻村  
3/13 大久保  
3/20 大庭（アルト）  
3/21 中西（ソプラノ）、大友  
3/27 濱野  
4/03 翁長  
4/10 大庭（テノール）  
4/17 柿沼  
4/24 椎野  
5/01 佐藤  
5/08 堀江  
5/15 辻村  
5/22 大久保  
5/29 大庭（アルト）

6/05 濱野  
6/12 堀江  
6/19 大庭 (テノール)  
6/26 柿沼  
6/30 大友

冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年2月20日 (水)

### 練習箇所

Dieterich Buxtehude  
Der Herr ist mit mir  
Was frag ich nach der Welt

Georg Philipp Telemann  
Missa brevis in C

### 記事

発声個人レッスン：椎野さん  
全体発声：30分

内容

#### ★Der Herr ist mit mir

- ・20小節～24小節：オケの間奏からフレーズに入る練習をしました。24小節の入り、テノールは上の響きで歌いだすように。
- ・54小節：音符が細かくなっているので、直前のオケの間奏のテンポ感に惑わされないように。慣れるために練習をしました。
- ・116小節：入りの音は直前のオケの間奏と和音が変わるので、注意。慣れるために練習しました（男声）
- ・170小節～：バスのソロ部分を練習しました。
  - ・フレーズの入りは裏声多めの軽い声で入りましょう。
  - ・ブレスは170小節4拍目の16分音符の後、171小節2拍目の16分音符の後でとるようにしましょう。
  - ・リズムを正確に取る練習をしました。

#### ★Was frag ich nach der Welt

- ・まず、「練習記号O」のAlleluyaの部分を練習しました。
- ・男声は162小節にあるような8分休符+8分音符2個の組み合わせのパターンの時、リズムとテンポが正しくなるように。だんだん詰まってしまう男声だけ先に行ってしまうので気をつける。
- ・最初から通して歌いました。
- ・「練習記号O」には、前の小節から続けて同じテンポで入ります。
- ・「練習記号J」のリズムと言葉に慣れるために、練習しました。
- ・「練習記号C (男声ソロ)」
  - ・31、32小節：「Jesus」の最後の"s"を言うように。
  - ・49小節：「frag」は（次の言葉のichを短くして）しっかり時間をとって語尾まで発音する。

#### ★Missa brevis in C

- ・全曲歌いました。

- ・テノール：「1.Kyrie eleison」の11小節からのフレーズに入れるよう、練習をお願いします。
- ・来週も練習します。

### 出席者

ソプラノ：辻村  
 アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
 テノール：大庭 柿沼  
 バス：椎野  
 欠席：4人（ソプラノ2、テノール、バス各1）

### 備考

♪発声個人レッスンの予定  
 02/27 中西（バス）  
 03/06 辻村  
 03/13 大久保  
 03/20 大庭（アルト）  
 03/21 中西（ソプラノ）、大友  
 03/27 濱野

■冒頭へ

月初の練習日に移動

2019年2月13日（水）

### 練習箇所

Dieterich Buxtehude Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes  
 Der Herr ist mit mir

### 記事

発声個人レッスン：柿沼さん  
 全体発声：33分

内容  
 ★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes  
 ◎発音注意（合唱部分共通）

- ・"nichts"は語尾が次の休符に残らないように内切りをお願いします。特に男声が残りがちです。8分音符と4分音符があるので、それぞれの音価で子音を言うタイミングを揃えましょう。
- ・"uns"と"sch-"を分けて発音する。"uns"の"s"は[tz]となってOK。繋がらないように。また、"u"が日本語の「ウ」にならないように。
- ・"scheiden"の"a"は天井を上げて広い母音にする。つぶれた「ア」にならないように。
- ・"von"の"n"は舌の前の方ではっきり発音し、次の"d"と曖昧にならないように。
- ・"der"は短く発音する。ただ、語尾は無くならないように。"de"と聞こえてしまうため、軽く巻き舌で発音する。
- ・"Gottes"の"e"は語尾らしく曖昧母音にしてください。「エ」にならないように。

また、語尾なので短めに終わる。隠すようなイメージで。

◎全体合唱（練習番号A）

- ・8小節：高い響きで音色を合わせる。
- ・9小節男声：2拍目のBの音は下がり過ぎないように上から入る（33小節も同様）。10小節1拍目のDも同様。

- ・11小節男声：AからDへ下りる音を上の声で発音する。
- ・14小節アルト：2拍目のAは半音下がるだけなので、上から丁寧に。
- ・32小節男声：間奏からハーモニーを想像して高い響きで入る。
- ・34～36小節は"von der Liebe Gottes"の言葉が1つに繋がるようレガートに歌う。

#### ◎ソプラノソロ（練習番号B）

- ・2小節：3拍目"wohl"は弱拍ではあるが、長めにしっかりと歌う。
- ・8小節："Gott"は短く切り、"koe-"の音を丁寧に上から入る。
- ・13～21小節：言葉のアクセントがないところも響きが無くならないように。
- ・13小節：このEは上ずりやすいので、和音を意識して落ち着いたピッチで入る。
- ・15小節："Truebsal" 1つの言葉に聞こえるように2拍目を言い直さない。

次の"doch"の前でフレージング。

- ・29小節："nicht Hunger"を1つの文節として歌う。"nicht"の最後の8分音符が抜けないように、次に繋がるように母音を伸ばす。
- ・31小節："Bloesse"語尾のGisが抜けないように。きちんとその音に到達する。
- ・40小節："-ng"は舌が離れる音はさせて次に行く。

#### ◎アルトソロ（練習番号C）

- ・1小節："Auch"の"u"が抜けると"ach"になってしまうので注意。また、"ch"は口を縦に開ける。すぼめてしまうと"auf"になるので注意。
- ・2小節："kain"は上から入る。前の"ist"を短く切って"k"を前に出して"a"の準備をする。
- ・3小節："-schaff-"も"a"の天井を上げる。天井が上がったところで"sch-"の子音を言う。
- ・14小節：2拍目裏"we-"強拍ではないがアクセントをつける。
- ・16-17小節："-gestalt"は16小節Bの音で"-ges"まで言って、17小節Cは"t"を飛ばして"a"を明るく歌う。
- ・18小節："-ten-"は曖昧母音で。"-tum"も日本語の「ウ」にならないように。
- ・26小節：1拍目"ist"は短く切って、次の"o-"を長めにしっかりと。
- ・29小節："bracht"は短めに終わり、"nicht Hohes"を1つの文節として歌う。ソプラノ同様。

#### ◎全体合唱（練習番号D）

- ・7小節：1拍目はアルトと男声が5度のハーモニーをつくり、2拍目から11小節までは3度のハーモニーで動いていきます。

和音を意識して合わせて歌いましょう。

- ・17小節男声：1拍目高いFは、アルトのGにぶつけに行けるように高い響きで。
- ・19小節："Thron"は、3拍目からソプラノが別の言葉を歌い出すため、短めに皆で揃えて終わる。
- ・26小節～："goettliche"オーウムラウトを開きすぎない。「エ」に聞こえます。
- ・33小節："nicht"語尾を内切りで揃えましょう。
- ・37小節：ここはユニゾンです。特に男声が低くなりがちなので上から丁寧に入ること。

#### ★Der Herr ist mit mir

始めから20小節まで練習しました。

- ・最初のテーマ"der Herr ist mit mir"は、言葉がベターッと繋がらないように。

特に"ist"を短めに。語尾の"t"を飛ばし、次の"mit"を歌い直す。

"Herr"も語尾をしっかり巻いて"ist"は改めて言い直す。

- ・6小節アルト：はじめから天井を高く。地声にならないように。
- ・8小節バス：4拍目のAsはソプラノのGに引っ張られないようしっかり上がる。
- ・9小節：1拍目の"nicht"は8分音符です。語尾の子音を内切りで揃えましょう。19小節も同様。
- ・9小節テノール：3拍目のHはナチュラルを意識して改めて入り直す。テノールが和音をつくれます。
- ・14小節テノール：他パートが出しているハーモニーの中に入るつもりで歌い出す。
- ・16小節：この和音はごまかしがきかない難しい音型。特にアルトとテノールのオクターヴを良い響きで。
- ・18小節テノール：1拍目はバスとオクターヴを意識する。ここも内切り。裏拍に残らないこと。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼  
バス：椎野 中西  
全員出席

#### 備考

♪発声個人レッスンの予定  
02/20 椎野  
02/27 中西（バス）  
03/06 辻村  
03/13 大久保  
03/20 大庭（アルト）  
03/21 中西（ソプラノ）、大友  
03/27 濱野

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2019年2月6日（水）

#### 練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Ein feste Burg ist unser Gott  
Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

Dieterich Buxtehude  
Befiehl dem Engel, dass er komm  
Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

#### 記事

発声個人レッスン：大庭（テノール）さん  
全体発声：38分（3回に分けてやりました）

内容

★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・テノールパートを中心に丁寧にさらいました。
- ・9小節テノール：8分音符を歌い流さず、しっかり歌う。
- ・17小節テノール：Hの音がフラット気味になるので気をつける。
- ・53小節："Der"は冠詞なので長音ではありません。
- ・87小節："Erd"は長音です。
- ・99小節テノール：音をあまり切らずレガート気味に歌う。イメージとしては単語が文章に変わるように。120小節も同様
- ・100小節テノール：Gの音は母音が「ア」で下がりやすいので上の響きで歌う。
- ・184小節～（Strophe4）：4分の4拍子になっているが、前の小節までと同じ2分の2拍子のテンポ感で歌う。
- ・194小節テノール：しっかりと入る。
- ・213小節：音は低いけど落ち込んだ感じで終わらないように。このコーラルの歌詞は空気的心情（本当は心もとないに威張ってみせる）を表している。なので明るい声でしっかりと歌う。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・1回通して歌いました。

★Befiehl dem Engel, dass er komm

- ・16小節：3拍目は短すぎないように。17小節も同様。
- ・16～18小節は休止符が間に挟まっているので小さい塊と感じがちだが、続けて一つの大きな音楽の流れと感ぜられると良い。
- ・21小節テノール：16分音符のメリスマはソプラノとハモるように。持ち上げるというより、釣り上げるというイメージで高さを保つ。
- ・25小節アルト：Aの音がハーモニーに綺麗にはまるように。26小節も同様。
- ・60小節：入りの和音は58小節と同じです。バスは58小節で歌いながらGisの音を頭の中でイメージしておくと言取りやすい。
- ・62小節：ハ長調への転調がうまくいくようハーモニーをしっかりと決めるように。
- ・63小節：2拍目の和音がしっかりと決まるよう、練習しました。
- ・63小節ソプラノ：3白目裏のEは装飾音の役割を持っているのでしっかりと出す。
- ・108小節：2拍目からアレグロに変わることを意識して伸ばす。
- ・118小節バス：Gの音は伴奏の和音「ミソシ」のソと意識すると取りやすい。134小節のEも同様に伴奏の和音「ドミソ」のミと意識する。
- ・141小節バス：Cの音は伴奏の和音「ラドミ」のドと意識して入る。147小節も同様。
- ・130小節：合唱が入る直前の伴奏の和音「ミソシ」から合唱の入りは和音が「ソシレ」に変わることを意識する。バスは歌が休みのところでオーケストラのバスをたどっていくと言取りやすい。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

- ・A,B,Cの部分を1回通して歌いました。
- ・この曲は来週、練習します。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 濱野 堀江  
テノール：大庭 柿沼  
バス：中西  
欠席： 3人（アルト、テノール、バス）

備考

♪発声個人レッスンの予定  
02/13 柿沼  
02/20 椎野  
02/27 中西（バス）  
03/06 辻村  
03/13 大久保  
03/20 大庭（アルト）  
03/21 中西（ソプラノ）、大友  
03/27 濱野

■ [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2019年1月30日（水）

## 練習箇所

Georg Philipp Telemann

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

Ein feste Burg ist unser Gott

## 記事

発声個人レッスン：平石

全体発声：30分

### 内容

2曲ともテノールパート中心にゆっくり練習しました。

テーマは2つ。

1. 裏声を上手に使って、常に上から声を出す。

低い音域も裏声の要素を混ぜて軽く発声することを心掛けましょう。

2. リズムを正確に。

細かい音符がどうしても走る傾向にあります。裏拍を意識して、急がないよう注意してください。

### ★ Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

一度全体で通した後、17小節からゆっくりテノールのパート中心に練習。

- ・17小節3拍目：Gの音も声を落とさず上から入る。
- ・20小節：この言葉は"Hoffnung"です。1拍目裏で"r"をしっかり発音して"-nung"を発音します。
- ・21～22小節は個々の発音を確認しながら練習。各自で復習をお願いします。

### ★ Ein feste Burg ist unser Gott

#### Strofe 2

テノール中心に全員で練習。

・100小節："Macht ist nicht getan"を繋げて歌えるように。特に1拍目裏の"ist"の8分音符がメロディとして繋がるようにする。

・100小節1拍目：先生のご注意ありませんでしたが、"Macht"のGの音を誤っている方がいるようです。ご確認お願いします。

・106～108小節：106小節2拍目でDに上がるところから先、上の声を使って高い響きで歌う。

108小節、109小節はバスと5度のハモリを意識する。

・115小節：2拍目のEはソプラノとユニゾンです。上の声を使って合わせるよう意識して入る。

・119小節：1拍目裏の"ver"を急がずリズムに合わせて入る。

・120小節："fuer uns"は小節を跨いでいるが、ひとつのシラブルと捉え、繋げて歌う。以下同様。

・126小節：Dの音はバスと5度のハモリを意識する。下がりすぎないように注意。

・138～140小節："erkoren"ひとつの言葉になるように、滑らかに歌う。

・147小節：2拍目Gは裏声を使って上から入る。

・159小節：2拍目のGは上手く裏声に切り替えて歌う。

・167小節：8分音符を急がず滑らかに歌う。

・178～180小節：FとGが続くが、裏声で軽く歌う。

#### Strofe 4

・200小節全体："Weib"の語尾は外切りになります。

・191～193小節テノール：上のFからH-G-Eの下降音形を正確に。211～213小節も同様。

#### Strofe 1

一度歌った後、69小節から復習。

・71～73小節テノール：71小節2拍目裏のCis, 72小節2拍目裏のD, 73小節2拍目のC 辺りの音を正確に。

特に73小節のCに#がついてしまうので注意要。

## 出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼  
バス：椎野 中西  
全員出席

## 備考

♪発声個人レッスンの予定  
02/06 大庭 (テノール)  
02/13 柿沼  
02/20 椎野  
02/27 中西 (バス)  
03/06 辻村  
03/13 大久保  
03/20 大庭 (アルト)  
03/21 中西 (ソプラノ)、大友  
03/27 濱野

 [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

## 2019年1月23日 (水)

## 練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Missa brevis in C  
Der Herr ist König  
Der Gott unsers Herrn Jesu Christi  
Ein feste Burg ist unser Gott

## 記事

発声個人レッスン：堀江  
全体発声：35分

内容

★Missa brevis in C

1.Kyrie eleison

・11～13小節アルト：張りのある声で。全パートが低めの音なので内声がしっかり歌わないと、合唱の響きが虚ろな感じになってしまう。

5.Et in terra pax

・発音：Gratias「グラツィアス」、magnam「マグナム」

・1小節：3拍目の8分音符は次の休符にかからないよう、きっちりと切る。伴奏が違う和音になっているため。次の小節の1拍目、3拍目なども同様。

・9小節テノール：3拍目の8分音符は歌い直しをするとgに下がった時に声が太るので限りなくつなげて歌う。4拍目は母音が「ア」で響きが落ちやすいので気をつける。

7.Qui tollis peccata mundi

- ・発音："Qui"の"i"は顎を緩めて。"sedes"の"se"は狭い母音。"Dei"の"De"も狭い母音。
- ・19小節：付点4分音符の長さを正確に。8分音符が短くなりやすいので気をつける。

#### 8.Quoniam tu solus Sanctus

- ・45小節内声：バスに付き合っ早めに切る。
- ・49小節：1拍目は早めに切って、次のフレーズはブレスをして余裕を持って入る。

#### ★Der Herr ist König

アカペラで練習しました。

- ・"ist"：語尾の子音をしっかり言う。
- ・1小節～6小節バス：

"König"の"Kö"は発音が「エ」になり過ぎないように、もう少し唇を丸くして発音する。そして、音が動いているが、角を付けず滑らかに歌う。

次の小節の"freue"も同様に角を付けず滑らかに。

"Erdreich"の"d"を発音する。

- ・6小節テノール：出だしのaの音は先行するバスの音をなぞりつつ、5小節の2拍目から頭の中でaの音を歌っておくと、取りやすい。
- ・11小節テノール："Erdreich"の"E"は長い母音です。
- ・14小節：テノールパートの4拍目のような8分音符の跳躍の音型は走りやすく音が下りきらなくなるので、それぞれの音符を律儀に歌う。
- ・31小節からソプラノ、テノールパートに現れる音型は2小節単位でブレスを取るとよい。

#### ★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・アカペラでも練習しました。
- ・発音："eures"の"u"はウムラウト気味に唇を丸めて。
- ・17小節～テノール："welche da sai"は1語ずつ区切って歌う。"Hoffnung"の"ff"、"ng"の子音を飛ばす。
- ・6小節から7小節にかけてD-dur => G-dur => C-durと転調しているので慣れるため数回練習しました。
- ・7小節3拍目のドミソが綺麗に響くように。母音が「ア」なので響きが下がりやすいので注意する。軟口蓋を上げながら歌い出す。（特にバスは意識する）
- ・3小節3拍目のように強拍に語尾がある場合は、強く歌わないよう気をつける。

#### ★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・1回通して歌った後、Strophe2からゆっくりさらいました。

#### 出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
 アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 堀江  
 テノール：翁長 柿沼  
 バス：椎野 中西  
 欠席：2人（アルト、テノール）

#### 備考

♪発声個人レッスンの予定

01/30 平石  
 02/06 大庭（テノール）  
 02/13 柿沼  
 02/20 椎野  
 02/27 中西（バス）  
 03/06 辻村  
 03/13 大久保  
 03/20 大庭（アルト）  
 03/21 中西（ソプラノ）、大友  
 03/27 濱野

2019年1月16日（水）

## 練習箇所

Dieterich Buxtehude  
Was frag ich nach der Welt  
Georg Philipp Telemann  
Missa brevis in C  
Der Herr ist König

## 記事

発声個人レッスン：濱野さん  
全体発声：35分

## 内容

## ★Was frag ich nach der Welt

- ・ 男声：34小節3拍目からは階名で「ミファミレドレドシララ」と思って歌うといい。（37小節も同様）。
- ・ 男声：100小節フレーズの入りは余裕を持って上の響きで入る。（慌てて入らないように）
- ・ 男声：102小節1拍目のソのピッチが不安定になりやすいので気をつける。
- ・ 練習番号O（Alleluya）
  - ・ チェロバスの音のみで歌う練習をしました。
  - ・ 男声：120小節のように8分休符が拍の頭にある時にチェロバスが鳴っているのでつられて入らないように注意する。
  - ・ 男声：174小節2拍目のようにチェロバスと音がぶつかる場所でピッチが上ずってしまうことがあるので注意する。
  - ・ 男声：177小節4拍目のFisのピッチが不安定になりやすい（1拍目がFなので）ので注意する。
  - ・ 最後にオケ伴奏で練習しました。

## ★Missa brevis in C

- ・ 最初に通して歌った後、細かく区切って練習しました。

## 1.Kyrie eleison

- ・ 発音："Kyrie"の"Ky"の母音はuのウムラウト（ü）です。"キ"と発音しないように。

## 6.Domine Deus

- ・ テノールソロ：歌い出しは短調だが、13小節は長調に転調するので注意。14小節からまた短調に戻ります。

## 7.Qui tollis peccata mundi

- ・ 26小節から音がぶつかっているのでぶれないよう丁寧に歌う。
- ・ 26小節バス：4拍目のDは取りにくい音（普通はDesがくるところ）なので注意する。

## 8.Quoniam tu solus Sanctus

- ・ ここから、テンポを速くします。

## ★Der Herr ist König

- ・ 最初に1回通して歌った後、30小節からの音が細かく動くところをゆっくりさらいました。
- ・ 8分音符のフレーズで時々出てくる3度の跳躍を丁寧に歌う。
- ・ 最後にテンポアップして歌いました。

## 出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭  
バス：椎野 中西  
欠席：1人（テノール）

## 備考

♪発声個人レッスンの予定

01/23 堀江  
01/30 平石  
02/06 大庭（テノール）  
02/13 柿沼  
02/20 椎野  
02/27 中西（バス）  
03/06 辻村  
03/13 大久保  
03/20 大庭（アルト）  
03/21 中西（ソプラノ）、大友  
03/27 濱野

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2019年1月13日（日）

## 練習箇所

Dieterich Buxtehude

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes  
Der Herr ist mit mir  
Was frag ich nach der Welt

## 記事

椎名町のバッハはうすで、13:30~17:00まで休日練習を行いました。

発声個人レッスン：佐藤さん

全体発声：26分

内容

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

アルトソロとソプラノソロを中心に練習しました。

◎アルトソロ（練習番号C）

- ・音域がとても低いので、表声を使ってしっかりと出す。声を前に出すことを常に心掛けるように。
- ・1小節："Auch"の"ch"は口を縦に開ける。すぼめてしまうと"auf"になるので要注意。
- ・7小節"Geliebte"までは裏声主体。次の"von"から表声に切り替える。8小節の"sollte"は音が低いがしっかりと出す。
- ・18小節"fuersten"もしっかり表声で。19小節からは裏声に切り替えて上昇形を綺麗に歌う。
- ・20小節"Todes"の"des"は曖昧母音だが響きが無くならないよう注意する。
- ・27小節2拍目裏はHです。全音上がることを意識して上向きに声を出す。
- ・29小節は1拍表のAを半拍だがしっかりと出す。裏拍からのGisはスッと引く。

次の"nicht"は前のめりにならず、カンマを活かし、すき間を空けてジャストのタイミングで入り直す。

- ・31小節2拍目裏はGisです。語尾で力を抜くとGに聴こえてくるので注意要。

#### ◎全体合唱（練習番号D）

- ・全体的に言葉がまだもごもごしているので、しっかり発音する。印刷が見辛いようであれば各自綴りを書き直しましょう。
- ・4小節：1拍目のハーモニーを意識する。男声下がり過ぎないように。
- ・29小節アルト：3拍目の"die"はアルトだけ半拍遅れて入るため、わかるように入ってくることを。

#### ◎ソプラノソロ（練習番号B）

- ・29小節および31小節の注意事項はアルトと同様。41小節も同様なので注意要。

#### ★Der Herr ist mit mir

一度通した後、個別にゆっくり練習をしました。

#### ◎150小節～最後まで 4拍子部分

- ・154小節～バス：
  - ・まずは8分音符単位に音を繋げ、その後1拍単位に繋げ、最後には"Alleluia"が1つになるように。
  - ・伴奏の和音から外れる音（2つ目の音（最初のシラブルではB）を正確に取る。うわずりやすいので注意要。
  - ・4つ目のオクターヴ下がる音はしっかり下りること。テンポを速くするとどうしても下りきれていないところが多くなります。
- ・170小節～バス：
  - ・冒頭の32分音符はお腹を使って1音ずつしっかり歌う。流れてしまわないように。
  - ・この時代の曲のスラー記号はシラブルを表す記号。符点などは音を切って構わないのでリズムを作って正確に歌う。
- ・172小節テノール：今回ご注意くださいでしたが、音取り正確をお願いします。ソプラノとオクターヴで歌っていたようです。ご確認ください。
- ・187小節テノール：4拍目の符点は第1ヴァイオリンのリズムに合わせるよう意識する。

#### ◎56小節～130小節 Allegro3拍子部分

- ・全体：1拍目が語尾になっているところで決めにかからないこと。意識的にスツと取るようにする。（例：64小節"-fen"、93小節"-den"等）
- ・57小節ソプラノ："mit"が8分音符になっているところは音が不安定になりやすいので注意要。"ist"を短めに発音し、音をしっかり当てること。（他パートも117小節と127小節に出てくるので注意要）
- ・62小節全体：1拍目のハーモニー要注意。バスのDが下がり過ぎないように。
- ・85小節～："und ich will meine Lust"の歌い方。"und"は力まず軽く取る。その後が本体。表拍の"ich" "mei-"を長めに歌い、シラブルが切れないように。"Lust"の"u"は唇を丸めて発音する。
- ・95小節～："sehen"の"se-"で各パート伸ばすところは柔らかく伸びのある音色で。発音も「イ」になり過ぎないように。
- 100小節2拍目で全員"-hen"となるが、そこは語尾らしくスツと取って終わり、次の"an"を歌い直す。
- ・126小節テノール：音が高いが冠詞の"der"なので、軽く歌うこと。

#### ◎冒頭4拍子部分

- ・6小節アルト：頭の"der"は裏声主体で軽く発音する。主はあくまで次の"Herr"です。

#### ★Was frag ich nach der Welt

一度通した後、個別に一部取り出して練習しました。

#### ◎練習番号A

- ・全体："frag ich"の歌い方。"frag"と"ich"にすき間ができて構わないので、"ich"を言い直す。また最後の"k"の発音に「ウ」の母音が入らないように。たまに「ク」と聴こえます。
- ・8分音符が連続しているところは表拍を長く歌う。6小節で言うと3拍目"frag"、"nach"を長めに、裏拍は軽く取るよ

うにする。

- ・8小節1拍目："Welt"は内切りです。基本的に休符の前は内切りです。特に男声が残るので注意してください。
- ・10小節3拍目："Jesu"は最後に"-s"がついていないので要注意。
- ・11小節男声：2拍目の跳躍はわかっていて入るように。表拍の語尾を短めに切る。
- ・14小節～："du"が「デュー」に聞こえる時があります。各自確認をお願いします。
- ・17小節3拍目：表拍で全員揃って"frag"の語尾を言って、"ich nach der Welt"をしっかりと発音すること。21小節、22小節も同様。
- ・20小節男声："Ruh"は女声のブレスに合わせて内切りをお願いします。

#### ◎練習番号C

- ・男声ソロ部分を一度ゆっくりお浸いしました。

正しい発音で歌えるよう各自復習をお願いします。

この曲は、10月の最初の練習でドイツ人の方に発音先導していただき、その録音をOneDriveに残しています。聴ける方はそちらも参考にしてください。

#### ◎練習番号J

- ・96小節全体：4拍目裏からの"im Fall" ここだけ独立させ、カンマでフレーズを分けること。

特に次の"sie"とは明確に分ける。

- ・100小節男声：入りをしっかり。入るタイミングを確認しておいてください。

#### ◎練習番号O

- ・ゆっくりさらいながら練習しました。リズムにのって軽やかに歌いましょう。
- ・174小節男声：4拍目のFがFisになりがちなので注意要。
- ・176～177小節男声：8分休符で遅れないように。

### 出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼  
バス：椎野 中西  
全員出席

### 備考

♪発声個人レッスンの予定

01/16 濱野  
01/23 堀江  
01/30 平石  
02/06 大庭 (テノール)  
02/13 柿沼  
02/20 椎野  
02/27 中西 (バス)  
03/06 辻村  
03/13 大久保  
03/20 大庭 (アルト)  
03/21 中西 (ソプラノ)、大友  
03/27 濱野

2019年1月9日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude

Befiehl dem Engel, dass er komm

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

記事

発声個人レッスン：辻村さん

全体発声：40分

内容

★Befiehl dem Engel, dass er komm

- ・少しずつ区切って、全曲をさらいました。
- ・10小節バス：3拍目のcがソプラノのcと揃うように。
- ・11小節：下3パートは4拍目裏の16分音符のタイミングを合わせる。
- ・27小節："gib"、"uns"、母音が短くならないように。
- ・36小節：入りの和音が前の拍と違うので注意する。
- ・37小節テノール：4拍目裏は8分音符のままで歌う。
- ・79小節バス：cがcisになってしまうので注意する。
- ・108小節：2拍目からテンポが変わるので注意する。
- ・121小節：アルト：内にこもらないように。外に向かって。
- ・発音："wir"のrに母音「ウ」が入らないように。  
"Ewigkeit"のEが「イ」になりすぎないように。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

- ・ソロ以外の部分をさらいました。
- ・8分音符の"nichts"：次に8分休符があっても、8分音符の中に収めて歌う。
- ・16分音符の"uns"：しっかり子音を立てる。
- ・22小節男声：3拍目のdを上響きで。女声の響きと合わせる。23小節も同様に。
- ・22小節"von"：しっかり発音する。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江

テノール：翁長 大庭 柿沼

バス：椎野 中西

全員出席

備考

♪発声個人レッスンの予定

01/13 佐藤

01/16 濱野

01/23 堀江

01/30 平石

02/06 大庭 (テノール)

02/13 柿沼

02/20 椎野

02/27 中西 (バス)

03/06 辻村  
03/13 大久保  
03/20 大庭 (アルト)  
03/21 中西 (ソプラノ)、大友  
03/27 濱野

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2018年12月26日 (水)

#### 練習箇所

全曲

Georg Philipp Telemann

- Missa brevis in C
- Der Herr ist König
- Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

Dieterich Buxtehude

- Befiehl dem Engel, dass er komm
- Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes
- Der Herr ist mit mir
- Was frag ich nach der Welt

#### 記事

発声個人レッスン：大久保さん

全体発声：35分

内容

全曲を1回ずつ通しで歌いました。

その後、テレマンのミサ曲をゆっくり復習しました。和音が変わるところに注意しながら音を確認しました。

次回からは、ブクステフーデに戻って練習します。各自思い出しておきましょう。

#### 出席者

ソプラノ：中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 堀江

テノール：翁長 大庭 柿沼

バス：椎野 中西

欠席：2人 (ソプラノ1人、アルト1人)

#### 備考

♪ 発声個人レッスンの予定

01/09 辻村

01/13 佐藤

01/16 濱野

01/23 堀江

01/30 平石

02/06 大庭 (テノール)

02/13 柿沼  
02/20 椎野  
02/27 中西 (バス)  
03/06 辻村  
03/13 大久保  
03/20 大庭 (アルト)  
03/21 中西 (ソプラノ)、大友  
03/27 濱野

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2018年12月19日 (水)

#### 練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Missa brevis in C  
Der Herr ist König  
Der Gott unsers Herrn Jesu Christi  
Ein feste Burg ist unser Gott

#### 記事

発声個人レッスン：大庭 (アルト) さん  
全体発声：37分

内容

★Missa brevis in C

・全曲 (4.Intonationは除く) : 言葉を付けて音取りをしました。

★Der Herr ist König

・復習をしました。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

・1回通して歌いました。

★Ein feste Burg ist unser Gott

・1回通して歌いました。

来週もTelemannを練習します。

#### 出席者

ソプラノ：中西  
アルト：大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼 (加生)  
バス：椎野 中西  
欠席：3人 (ソプラノ2人、アルト1人)

#### 備考

♪発声個人レッスンの予定

12/26 大久保  
01/09 辻村  
01/13 佐藤  
01/16 濱野  
01/23 堀江  
01/30 平石  
02/06 大庭 (テノール)  
02/13 柿沼  
02/20 椎野  
02/27 中西 (バス)  
03/06 辻村  
03/13 大久保  
03/20 大庭 (アルト)  
03/21 中西 (ソプラノ)、大友  
03/27 濱野

♪テノールパートに見学の方がいらっしゃいました。

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2018年12月12日 (水)

練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Der Gott unsers Herrn Jesu Christi  
Der Herr ist König

記事

発声個人レッスン：柿沼さん  
全体発声：35分

内容

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・先週に続き今回もヴォカリーゼで音取りをしました。
- ・言葉を付けて最後まで歌いました。

★Der Herr ist König

- ・ヴォカリーゼで音取りをした後、言葉を付けて歌いました。

出席者

ソプラノ：中西 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼  
バス：椎野 中西  
欠席：1人 (ソプラノ)

## 備考

♪発声個人レッスンの予定

12/19 大庭 (アルト)

12/26 大久保

01/09 辻村

01/13 佐藤

01/16 濱野

01/23 堀江

01/30 平石

02/06 大庭 (テノール)

02/13 柿沼

02/20 椎野

02/27 中西 (バス)

03/06 辻村

03/13 大久保

03/20 大庭 (アルト)

03/21 中西 (ソプラノ)、大友

03/27 濱野

♪6月までの練習予定表が配布されました。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

## 2018年12月5日 (水)

### 練習箇所

Georg Philipp Telemann

Ein feste Burg ist unser Gott

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

### 記事

発声個人レッスン：椎野さん

全体発声：38分

内容

★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・55小節2拍目裏、アルトとテノールの音の訂正はしないことにしました。
- ・1回全曲通して歌った後、Strophe2を重点的におさらいをして、再び全曲通して歌いました。

★Der Gott unsers Herrn Jesu Christi

- ・1～8小節：ヴォカリーゼで音取りをした後、歌詞をつけて歌いました。
- ・6小節ソプラノの3拍目は4分音符に訂正します（休符は無し）。
- ・9小節～最後：ヴォカリーゼで音取りをしました。
- ・来週は言葉を付けます。

- ・来週はTelemannの残りの曲を順次、音取りをします。

## 出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼  
バス：椎野 中西  
全員出席

## 備考

### ♪発声個人レッスンの予定

12/12 柿沼  
12/19 大庭 (アルト)  
12/26 大久保  
01/09 辻村  
01/13 佐藤  
01/16 濱野  
01/23 堀江  
01/30 平石  
02/06 大庭 (テノール)  
02/13 柿沼  
02/20 椎野  
02/27 中西 (バス)  
03/06 辻村  
03/13 大久保  
03/20 大庭 (アルト)  
03/21 中西 (ソプラノ)、大友  
03/27 濱野

### ♪2019年休日練習の予定

以下の日程で臨時練習を行います。各自予定しておいてください。

- ・1月13日(日)13:30～17:00 バッハはうす
- ・3月21日(木祝)14:00～17:30 同仁教会美登里幼稚園
- ・5月1日(水祝)13:30～17:00
- ・6月30日(日)13:30～17:00
- ・8月11日(日)13:30～17:00
- ・8月12日(月祝)13:30～17:00
- ・9月は未定

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2018年11月28日 (水)

## 練習箇所

Georg Philipp Telemann  
Ein feste Burg ist unser Gott

## 記事

発声個人レッスン：中西さん (バス)

全体発声：33分

内容

★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・ヴォカリーゼで音取りした後、言葉をつけて歌いました。
- ・55小節2拍目裏、アルトとテノールの音は訂正の可能性あり。別途確認の上、ご連絡します。

★次回予告

次回は、Der Gott unsers Herrn Jesu Christi を練習します。

出席者

ソプラノ：辻村 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼  
バス：椎野 中西  
欠席：1人（ソプラノ）

備考

♪発声個人レッスンの予定

12/05 椎野

12/12 柿沼

12/19 大庭（アルト）

12/26 大久保

2019/1/9 辻村

※1/13以降は調整の上掲示予定

♪楽譜代は5,000円です。月謝と一緒に支払うか、個別の場合は封筒に入れて大友さんまでお願いします。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2018年11月21日（水）

練習箇所

Dieterich Buxtehude

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

Befiehl dem Engel, dass er komm

Georg Philipp Telemann

Ein feste Burg ist unser Gott

記事

発声個人レッスン：大庭（テノール）さん

全体発声：30分

内容

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

- ・ソプラノ、アルトのそれぞれのソロの部分言葉を付けて、練習しました。

・全曲を通して歌いました。

★Befiehl dem Engel, dass er komm

☆楽譜の訂正箇所

- ・11小節テノール：2拍目の付点4分音符の付点を休符にする。
- ・10～108小節をヴォカリーゼで音取りした後、言葉をつけて歌いました。
- ・109小節～を言葉（Amen）をつけて歌いました。

★Ein feste Burg ist unser Gott

- ・Strophe1の部分をヴォカリーゼで音取りをしました。

出席者

ソプラノ：辻村 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼  
バス：椎野 中西  
欠席：1人（ソプラノ）

備考

♪発声個人レッスンの予定

11/28 中西（バス）

12/05 椎野

12/12 柿沼

12/19 大庭（アルト）

12/26 大久保

2019/1/9 辻村

♪総会を行いました。

議題：役員の選出（若干変更有り）、指導者の人選（今まで通り）、次回定演について、臨時練習について

♪臨時練習日程について

- ・確定日：1月13日（日）、3月21日（木・祝）、8月10日（土）
- ・その他の候補日については、調整後、お知らせいたします。

♪楽譜代は5,000円に決定しました。お支払いをお願いいたします。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2018年11月14日（水）

練習箇所

Dieterich Buxtehude  
Der Herr ist mit mir  
Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

記事

発声個人レッスン：堀江さん

全体発声：40分

内容

★Der Herr ist mit mir

☆56小節～のAllegro 3拍子をゆっくり練習しました。

- ・まず102小節～113小節を練習。
  - ・104小節テノール：出だしの音を想像してから入る。
  - ・106小節テノール：2拍目裏のAはナチュラルです。転調を意識して高めに取る。
  - ・112小節テノール：Dの音は明るく高めに。ハーモニーの中にいることを意識して歌う。
- ・その後、85小節～102小節を練習。
  - ・102小節テノール：Cの音は明るく高めに。内側にこもる発声にならないように。
- ・56小節から3拍子全体を通し、個別に練習した箇所スムーズに入れるか確認しました。
  - ・85小節バス：すぐに入れるよう前から意識して準備しましょう。

☆150小節～の4拍子、細かいパッセージをゆっくり練習しました。

- ・158小節アルト：Esの音が暗めになってしまうので明るく高めに取る。
- ・170～171小節バス：付点16分音符のリズムはきっちりと。今は符点がついていない時があります。

★Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

☆この曲も3声（Sop. Alt. Bas.）の曲です。男声は全員でバスパートを歌います。

☆楽譜の訂正箇所

- ・B 40小節ソプラノ：3拍目の歌詞 nicht ではなく、und です。
- ・C 15小節アルト：En-gel-noch とひとつの言葉の記載になっていますが、正しくは Engel noch です。2拍目と3拍目で言葉が分かれます。
- ・D 8小節ソプラノ：1拍目の音 B → C に修正お願いします。オケも同様です。

合唱部分を中心に全パート一緒にヴォカリーズで音取りした後、言葉をつけて歌いました。

出席者

ソプラノ：辻村 平石  
アルト：大久保 大友 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼  
バス：椎野  
欠席：2人（ソプラノ、バス）

備考

♪発声個人レッスンの予定

11/21 大庭（テノール）

11/28 中西（バス）

12/05 椎野

12/12 柿沼

12/19 大庭（アルト）

12/26 大久保

2019/1/9 辻村

♪総会のお知らせ

次回（11/21(水)）20時頃から休憩時間前後の時間を使って総会を行います。

2018年10月31日（水）

## 練習箇所

Dieterich Buxtehude  
Der Herr ist mit mir

## 記事

発声個人レッスン：辻村さん  
全体発声：45分

## 内容

## ★Der Herr ist mit mir

- ・先週の練習箇所（130小節まで）の復習をしました。
- ・6小節アルト：'Der'は裏声で。
- ・54小節出だしのハーモニーに注意。直前のヴァイオリンの音から取る。
- ・55小節'tun'のuの発音が浅くならないように。
- ・150小節から最後まで譜読みをしました。
- ・170～171小節バス：付点16分音符のリズムはきっちりと。ヴァイオリンの32分音符と合うように。
- ・最後に全曲通して歌いました。

## 出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
アルト：大久保 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼  
バス：椎野 中西  
欠席：1人（アルト）

## 備考

♪発声個人レッスンの予定

11/14 堀江  
11/21 大庭（テノール）  
11/28 中西（バス）  
12/05 椎野  
12/12 柿沼  
12/19 大庭（アルト）  
12/26 大久保  
2019/1/9 辻村

♪Telemannの楽譜4冊が配布されました。

♪次週の練習はお休みです。

■ [冒頭へ](#)

2018年10月24日（水）

### 練習箇所

Dieterich Buxtehude  
Der Herr ist mit mir

### 記事

発声個人レッスン：濱野さん  
全体発声：35分

内容  
★Der Herr ist mit mir

- ・先週の練習箇所（35小節まで）の復習をしました。
- ・'fürchte'：uウムラウトの発音、特に男声が「ウ」になりやすいので注意。基本は「イ」で口をすぼめます。舌が奥に引っ込まないようにしましょう。
- ・'ch'の発音が沢山出て来ます。子音の時間を作ってしっかり発音しましょう。
- ・26小節バス：2拍目裏はEsです。前の小節とは違うので勘違いしないよう注意。

  

- ・38小節から130小節まで、ヴォカリーゼで音取りをしてから、言葉を付けて歌いました。
- ・'können'：oウムラウトが「エ」になりやすいので注意。
- ・40小節の"1. Zeitmass"は「最初のテンポで（Tempo I）の意」です。
- ・54小節は音符が細くなるので注意。

### 出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
アルト：大久保 大庭 佐藤 濱野 堀江  
テノール：翁長 大庭 柿沼  
バス：椎野 中西  
欠席：1人（アルト）

### 備考

♪発声個人レッスンの予定  
10/31 辻村  
11/14 堀江  
11/21 大庭（テノール）  
11/28 中西（バス）  
12/05 椎野  
12/12 柿沼

♪総会のお知らせ（日程訂正）  
前回、12月に行うアナウンスをしましたが、時期を早めて11月21日に行います。  
休憩時間前後に少しお時間いただきますので、ご協力よろしくお願ひします。

♪臨時練習のご案内  
来年1月13日(日)13時～17時（予定）で休日練習を行います。  
※今年度は何回か休日練習を組む予定です。別途ご案内します。

2018年10月17日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude  
Was frag ich nach der Welt  
Der Herr ist mit mir

記事

発声個人レッスン：大庭(アルト)さん  
全体発声：40分

内容

★Was frag ich nach der Welt

- ・112小節から156小節まで、ヴォカリーゼで音取りをしてから、言葉を付けて歌いました。
- ・先週の練習箇所の復習をしました。
- ・41小節～：'starker'の語尾は短い音符に付いているので巻かないが、但し「カー」とはならないように。曖昧に。
- ・'frag ich'がリエゾンしないように分けて発音する。
- ・102小節男声：1拍目のGが不安定になりやすいので、和音 (E-G-A-Cis) をイメージする。
- ・117小節～135小節：アルトのソロ部分をヴォカリーゼで音取りをしてから、言葉を付けて歌いました。
- ・157小節から最後まで言葉を付けて歌いました。

★Der Herr ist mit mir

- ・34小節まで言葉を付けて歌いました。

出席者

全員出席

備考

♪発声個人レッスンの予定  
10/24 濱野  
10/31 辻村  
11/14 堀江

[冒頭へ](#)

2018年10月10日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude  
Was frag ich nach der Welt

記事

記事 発声個人レッスン：大久保さん  
全体発声：33分

内容

★Was frag ich nach der Welt

この曲はソプラノ、アルトとバスの3声の曲です。テノールの人もバスパートを歌います。  
111小節まで、ヴォカリーゼ(ho)で音取りをしてから、言葉を付けて歌いました。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石  
アルト：大久保 大友 佐藤 濱野  
テノール：翁長 大庭  
バス：椎野 (ラスト)  
欠席：4人(アルト2名、テノール・バス各1名)

備考

今日は10月7日の定期演奏会後の初練習でした。  
BuxtehudeのDer Herr ist mit mir の楽譜(コピー)を配布しました。  
ドイツ人のユルゲン・ラストさんが見学に来られました。  
発音はラストさんに先導していただき、練習しました。

先日の定演の入場者数は116名でした。  
大勢の方から差し入れをいただき、大久保さんが一人ずつ小分けにして配っていただきました。

♪発声個人レッスンの予定

10/17 大庭(A)  
10/24 濱野  
10/31 辻村  
11/14 堀江